



2023年度 第2四半期（中間） 決算説明会

コマツ出席者

代表取締役社長（兼）CEO	小川 啓之
取締役（兼）専務執行役員CFO	堀越 健
執行役員経営管理部長	菱沼 聖史

2023年10月27日（金）

目次

I.2023年度 第2四半期（中間）決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2023年度 第2四半期（7-9月）の概況
- P7-P8 : 2023年度 上期（4-9月）の概況
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2023年度 上期（4-9月）の状況（概況・セグメント売上高・利益）
- P11 : <リテールファイナンス> 2023年度 上期（4-9月）の状況
- P12 : <産業機械他> 2023年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益
- P13 : 連結貸借対照表

II.2023年度の業績見通し <P14-P29>

- P15-P16 : 2023年度の見通し（概要・セグメント売上高・利益）
- P17-P18 : <建設機械・車両> 2023年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P19 : <リテールファイナンス> 2023年度の見通し
- P20 : <産業機械他> 2023年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P21-P26 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P27-P28 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P29 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P30-P39>

- P31-P35 : 四半期毎の状況
- P36 : <建設機械・車両> 売上高とセグメント利益の推移
- P37-P39 : BBLシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I . 2023年度 第2四半期（中間）決算の概要

2023年度 第2四半期（7-9月）決算の概況

- ・売上高は、前年同期比+8.0%増収の9,234億円。
- ・営業利益は、前年同期比+27.0%増益の1,500億円。売上高営業利益率は、+2.4ポイント上昇し16.2%。
- ・純利益は、前年同期比+21.9%増益の1,001億円。

金額単位：億円	2022年度7-9月 ¥136.1/USD ¥139.3/EUR ¥93.9/AUD	2023年度7-9月 ¥144.2/USD ¥157.3/EUR ¥95.4/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	8,549	9,234	+685	+8.0%
セグメント利益	1,184	1,511	+328	+27.7%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 3	▲ 12	▲ 9	-
営業利益	1,181	1,500	+319	+27.0%
売上高営業利益率	13.8%	16.2%	+2.4ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 28	▲ 101	▲ 73	-
税引前四半期純利益	1,153	1,399	+246	+21.3%
当社株主に帰属する四半期純利益	821	1,001	+180	+21.9%

2023年度 第2四半期（7-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+8.8%増収の8,607億円。セグメント利益は、前年同期比+36.6%増益の1,424億円。セグメント利益率は、+3.3ポイント上昇し16.5%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+14.2%増収の246億円。セグメント利益は、前年同期比▲7.0%減益の66億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比▲9.3%減収の446億円。セグメント利益は、前年同期比▲66.6%減益の25億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

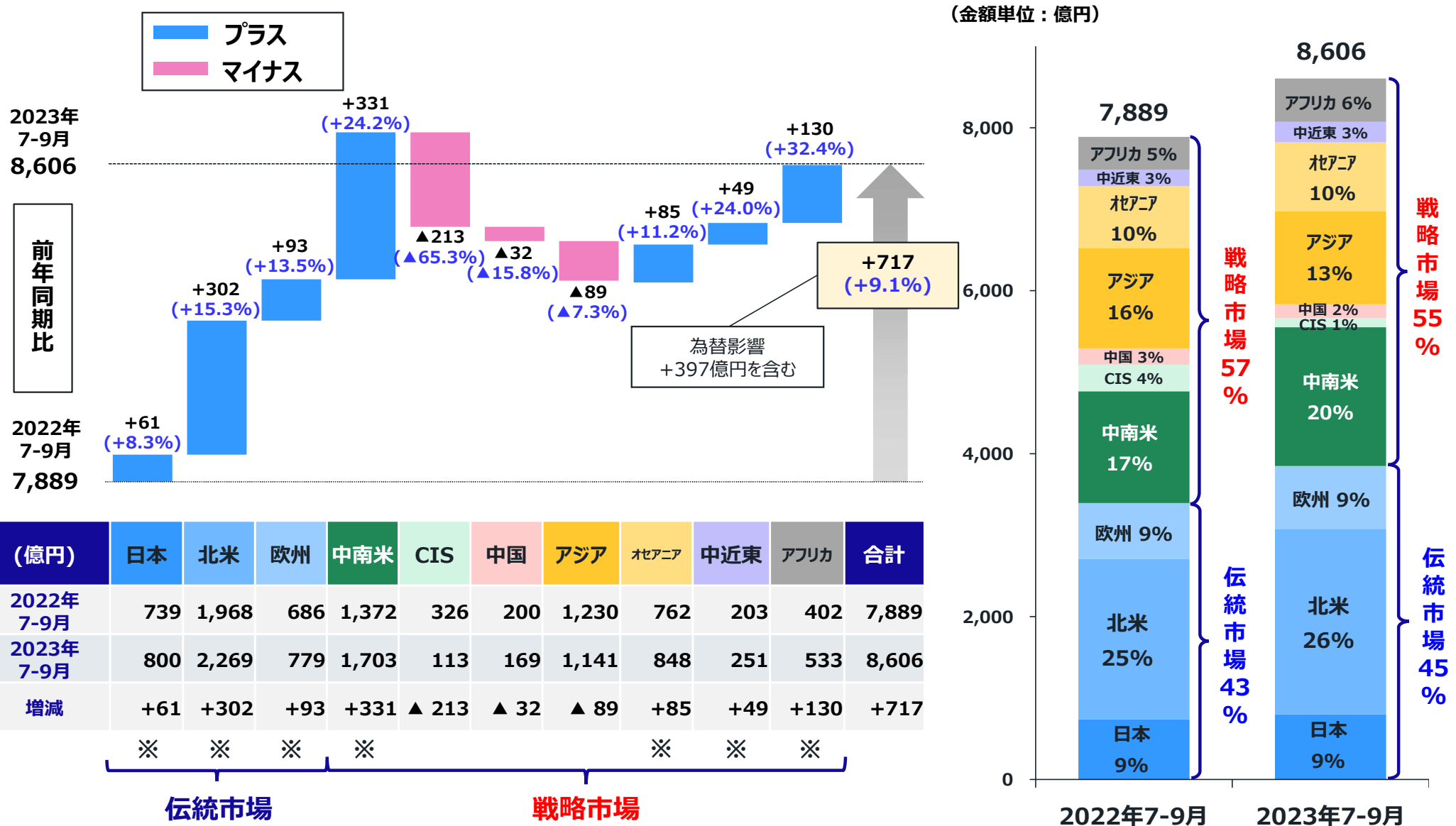
金額単位：億円	2022年7-9月		2023年7-9月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	8,549		9,234		+685		+8.0%	
建設機械・車両	(7,889)	7,909	(8,606)	8,607	(+717)	+698	(+9.1%)	+8.8%
リテールファイナンス	(172)	216	(192)	246	(+20)	+31	(+11.4%)	+14.2%
産業機械他	(489)	492	(437)	446	(▲51)	▲46	(▲10.5%)	▲9.3%
消去	▲67		▲65		+2		-	
セグメント利益	□13.8%	1,184	□16.4%	1,511	□+2.6ポイント	+328	+27.7%	
建設機械・車両	□13.2%	1,042	□16.5%	1,424	□+3.3ポイント	+382	+36.6%	
リテールファイナンス	□33.1%	71	□27.0%	66	□▲6.1ポイント	▲5	▲7.0%	
産業機械他	□15.2%	75	□5.6%	25	□▲9.6ポイント	▲50	▲66.6%	
消去または全社	▲4		▲4		+0		-	

各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
販売価格の改善や為替のプラス影響等により増収増益。
- リテールファイナンス
金利上昇や為替のプラス影響により増収、リース終了後の中古車の再販益の減少等により減益。
- 産業機械他
主に半導体産業向けで世界的な半導体需要の減少による影響を受けて減収減益。

<建設機械・車両> 2023年度 第2四半期（7-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+9.1%増収の8,606億円。
- ・アジア、中国、CISを除き、北米、中南米など他の全地域で売上高が増加。
- ・伝統市場の比率は45%、戦略市場の比率は55%、。



2023年度 上期（4-9月）の概況

- ・売上高は、前年同期比+12.6%増収の1兆8,230億円。
- ・営業利益は、前年同期比+40.3%増益の2,970億円、売上高営業利益率は、+3.2ポイント上昇し16.3%。
- ・純利益は、前年同期比+26.4%増益の2,055億円。

金額単位：億円	2022年/上期 ¥131.6/USD ¥138.1/EUR ¥92.9/AUD	2023年/上期 ¥140.3/USD ¥152.5/EUR ¥92.6/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	16,187	18,230	+2,043	+12.6%
セグメント利益	2,128	2,979	+852	+40.0%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 11	▲ 10	+2	-
営業利益	2,116	2,970	+853	+40.3%
売上高営業利益率	13.1%	16.3%	+3.2ポイント	-
その他の収益（▲費用）	161	▲ 90	▲ 251	-
税引前四半期純利益	2,278	2,880	+603	+26.5%
当社株主に帰属する四半期純利益	1,626	2,055	+430	+26.4%
1株当たり配当金（円）	64円	72円	+8円	

2023年度 上期（4-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+13.4%増収の1兆7,076億円。セグメント利益は、前年同期比+49.7%増益の2,808億円。セグメント利益率は、+4.0ポイント上昇し16.4%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+14.5%増収の475億円。セグメント利益は、前年同期比▲12.5%減益の130億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+1.6%増収の850億円。セグメント利益は、前年同期比▲59.8%減益の44億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

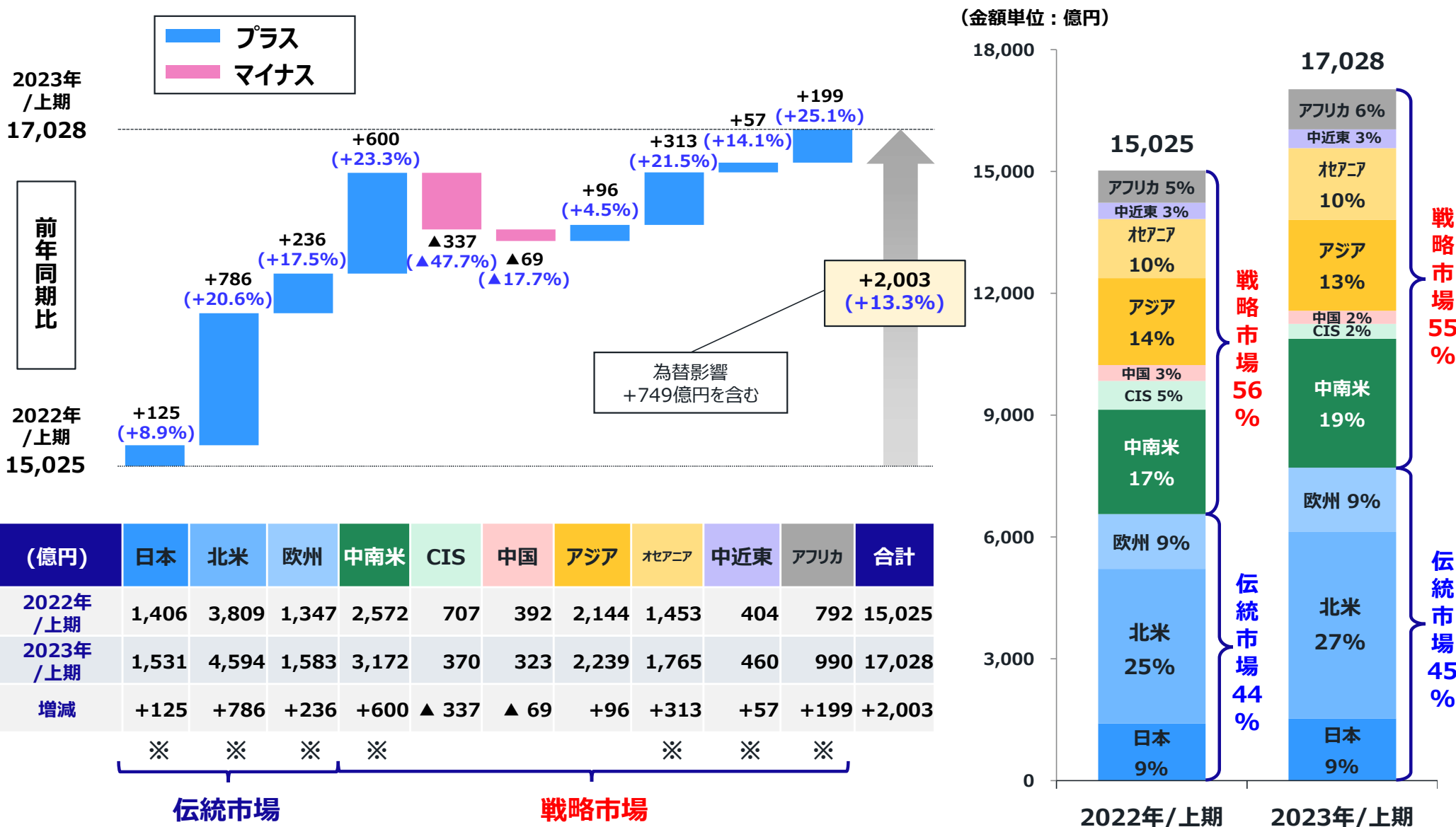
金額単位：億円	2022年/上期		2023年/上期		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	16,187		18,230		+2,043		+12.6%	
建設機械・車両	(15,025)	15,062	(17,028)	17,076	(+2,003)	+2,014	(+13.3%)	+13.4%
リテールファイナンス	(335)	415	(369)	475	(+34)	+60	(+10.2%)	+14.5%
産業機械他	(828)	837	(833)	850	(+5)	+13	(+0.6%)	+1.6%
消去	▲ 127		▲ 171		▲ 45		-	
セグメント利益	□ 13.1%	2,128	□ 16.3%	2,979	□ +3.2ポイント	+852	+40.0%	
建設機械・車両	□ 12.4%	1,875	□ 16.4%	2,808	□ +4.0ポイント	+933	+49.7%	
リテールファイナンス	□ 35.8%	149	□ 27.3%	130	□ ▲8.5ポイント	▲ 19	▲12.5%	
産業機械他	□ 13.1%	110	□ 5.2%	44	□ ▲7.9ポイント	▲ 66	▲59.8%	
消去または全社	▲ 6		▲ 2		+4		-	

各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
物量増、為替差および販売価格のプラス影響等により増収、増益。
- リテールファイナンス
金利上昇や為替のプラス影響により増収、前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったこと等により減益。
- 産業機械他
自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。
半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。

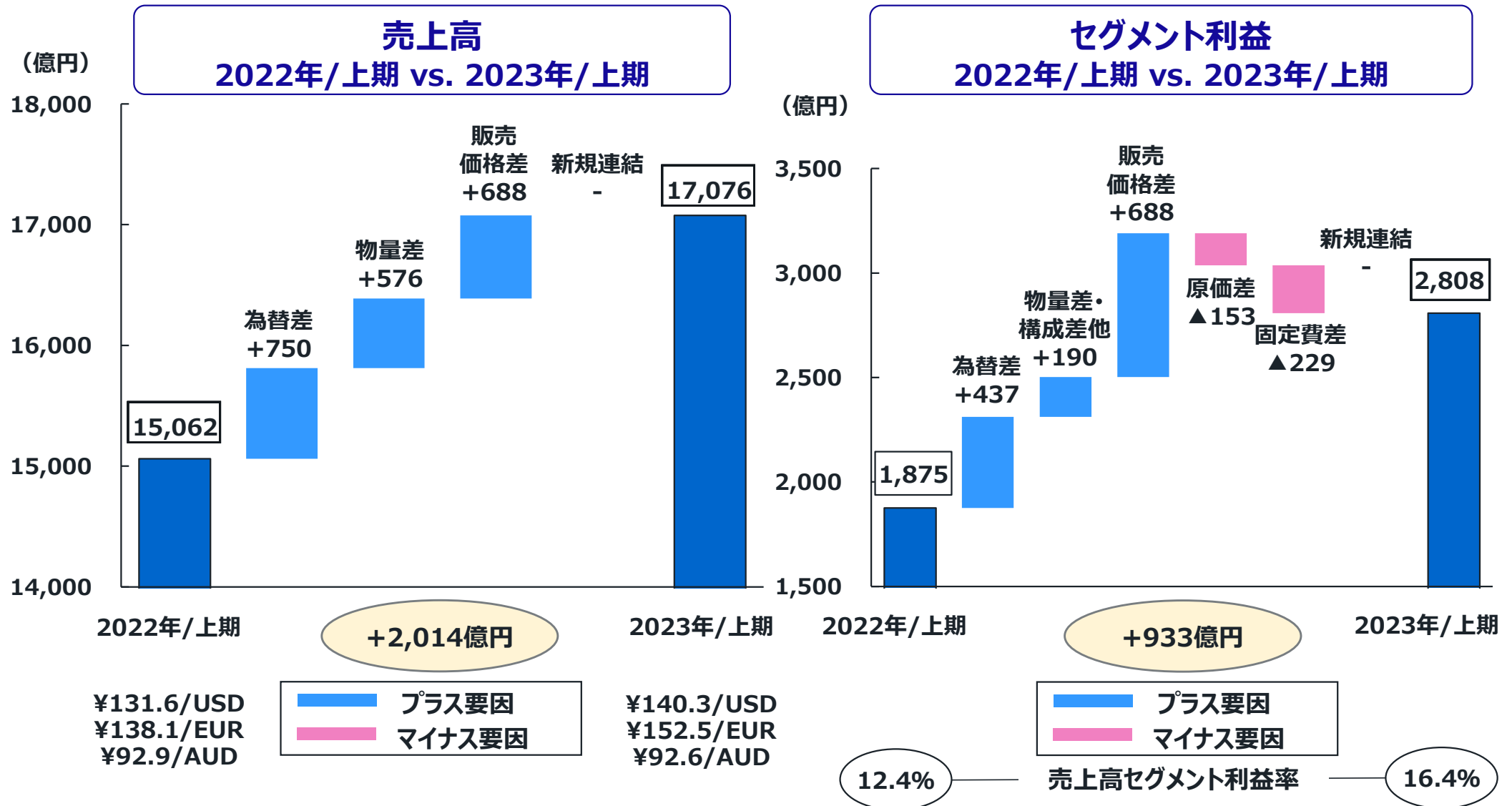
<建設機械・車両> 2023年度 上期（4-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+13.3%増収の1兆7,028億円。
- ・中国、CISを除き、北米、中南米など他の全地域で売上高が増加。
- ・伝統市場の比率は45%、戦略市場の比率は55%。



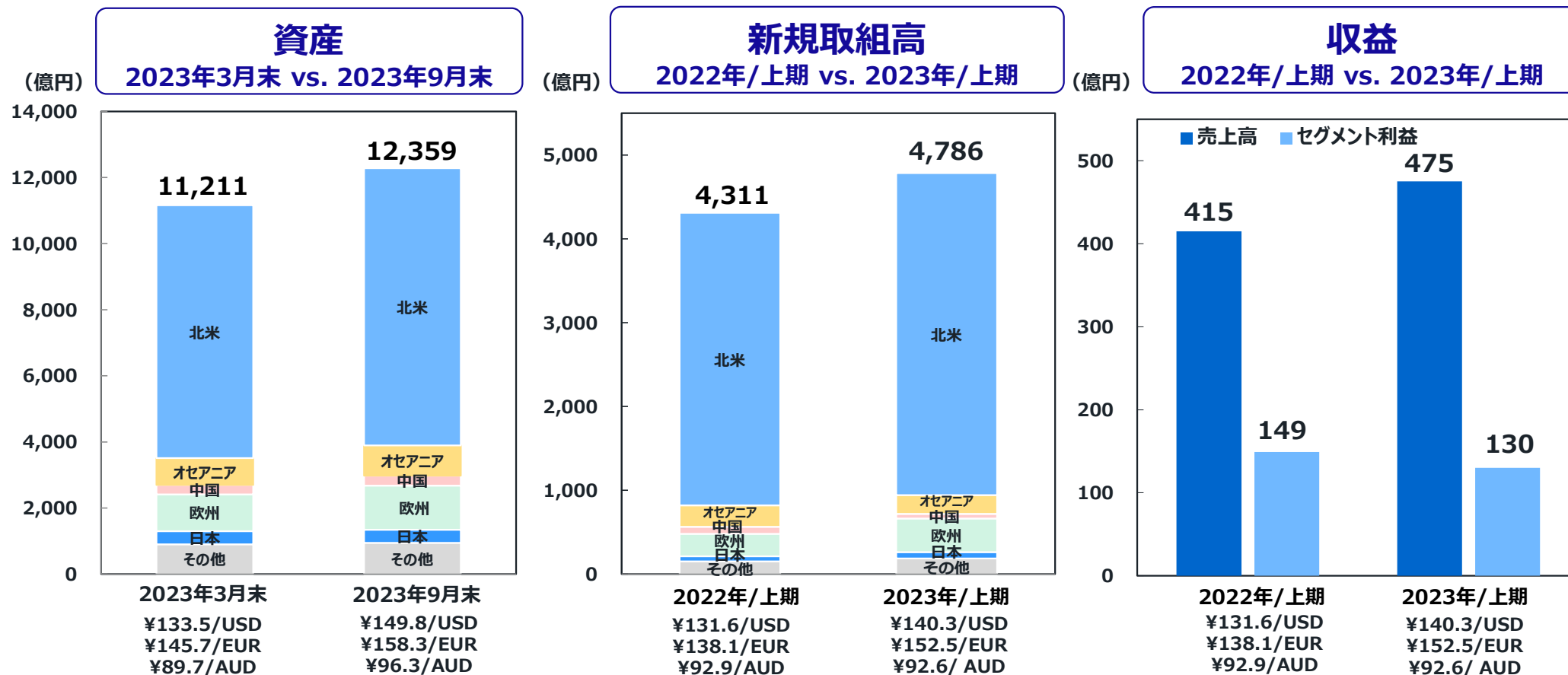
<建設機械・車両> 2023年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、為替および販売価格のプラス影響等により、前年同期比+2,014億円の増収。
- ・セグメント利益は、原価や固定費の増加を為替および販売価格のプラス影響等により吸収し、前年同期比+933億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+4.0ポイント上昇し16.4%。



<リテールファイナンス> 2023年度 上期 (4-9月) の状況

- ・ 資産は、主に為替の影響により、前年度末比+1,148億円の増加。
- ・ 新規取組高は、為替の影響や建設機械の販売増に伴い、前年同期比+475億円の増加。
- ・ 売上高は、金利上昇や為替の影響により前年同期比+60億円の増収。
- ・ セグメント利益は、前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったことなどにより、前年同期比▲19億円の減益。

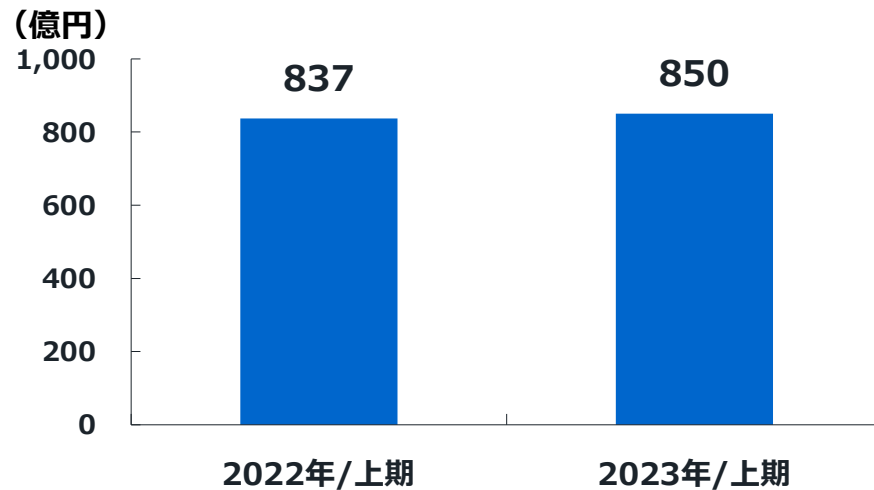


金額単位：億円	2023年3月末	2023年9月末	前年度末比
借入金	8,569	9,461	+892
ネットベースの借入金	8,453	9,277	+824
ネットD/Eレシオ	3.77	3.76	▲0.01ポイント

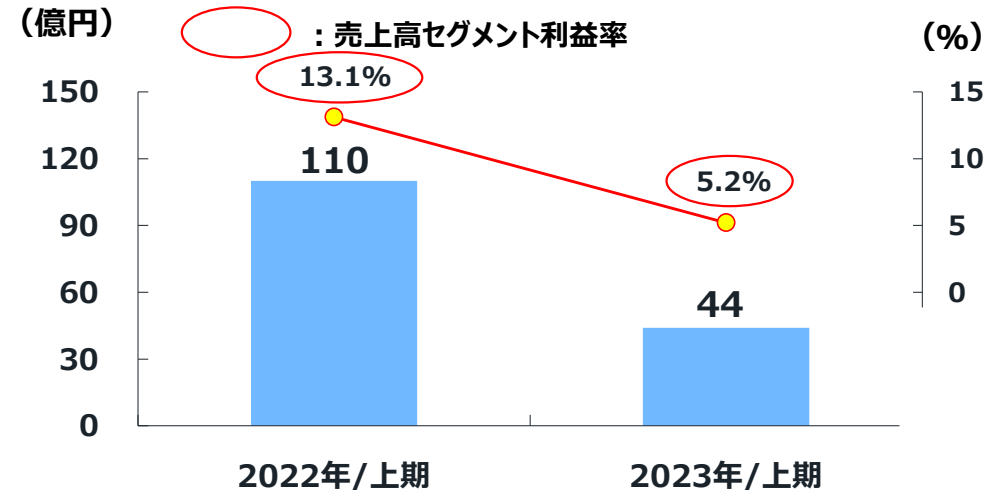
<産業機械他> 2023年度 上期 (4-9月) の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年同期比+1.6%増収の850億円、セグメント利益は、▲59.8%減益の44億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。
- ・半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。
- ・売上高セグメント利益率は、5.2%。

売上高
2022年/上期 vs. 2023年/上期



セグメント利益
2022年/上期 vs. 2023年/上期



売上高の内訳

(億円)	2022年/上期	2023年/上期	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	178	203	+25	+14.1%
コマツNTC	160	149	▲11	▲6.6%
ギガフォトン	288	267	▲20	▲7.1%
その他	212	231	+19	+9.1%
合計	837	850	+13	+1.6%

連結貸借対照表

- ・総資産は、前年度末比+5,282億円増加の5兆4,041億円。主に為替と運転資本の影響により増加。
- ・棚卸資産は、円安の影響に加え、鉱山機械への需要増の対応などにより増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比+0.9ポイント増加し53.0%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2023年3月末 ¥133.5/USD ¥145.7/EUR ¥89.7/AUD	2023年9月末 ¥149.8/USD ¥158.3/EUR ¥96.3/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	2,900	3,173	+273
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	16,816	17,776	+960
棚卸資産	12,272	14,915	+2,643
有形固定資産	8,364	8,811	+446
その他資産	8,406	9,366	+959
資産合計	48,758	54,041	+5,282
支払手形・買掛金	3,624	3,487	▲ 137
借入金・社債 [b]	10,538	11,525	+988
その他負債	7,818	8,861	+1,043
負債合計	21,979	23,873	+1,894
（株主資本比率）	（52.1%）	（53.0%）	（+0.9ポイント）
株主資本	25,396	28,653	+3,256
非支配持分	1,383	1,516	+132
負債及び純資産合計	48,758	54,041	+5,282
ネットD/Eレシオの借入金・社債 [b-a]	○ 0.30 7,638	○ 0.29 8,353	+715
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○ ▲0.04	○ ▲0.04	

Ⅱ. 2023年度の業績見通し

2023年度の業績見通し（概要）

- ・売上高は、前年比+3.3%増収の3兆6,600億円（4月見通しから+2,780億円上方修正）。
- ・営業利益は、前年比+11.7%増益の5,480億円（4月見通しから+570億円上方修正）。
- ・1株当たり配当金は、144円（4月見通しから+5円の変更）。

下期為替の前提 1ドル:135円、1ユーロ:148円、1豪ドル:88円に見直し

金額単位：億円	2022年度 (A) ¥134.8/USD ¥140.3/EUR ¥92.5/AUD	2023年度 (最新見通し) (B) ¥137.7/USD ¥150.3/EUR ¥90.3/AUD	2023年度 (4月見通し) ¥125.0/USD ¥133.0/EUR ¥83.0/AUD	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
売上高	35,435	36,600	33,820	+1,165	+3.3%
セグメント利益	4,935	5,570	4,980	+635	+12.9%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 28	▲ 90	▲ 70	▲ 62	-
営業利益	4,907	5,480	4,910	+573	+11.7%
売上高営業利益率	13.8%	15.0%	14.5%	+1.2ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 143	▲ 390	▲ 490	▲ 247	-
税引前当期純利益	4,764	5,090	4,420	+326	+6.8%
当社株主に帰属する当期純利益	3,264	3,400	2,990	+136	+4.2%
ROE	13.7%	13.0%	11.7%	▲0.7ポイント	
1株当たり配当金（円）	139円	144円	139円	+5円	
配当性向	40.3%	40.1%	44.0%		

2023年度の各セグメント売上高と利益の見通し

- 建設機械・車両部門の売上高は、前年比+3.3%増収の3兆4,040億円。セグメント利益は、前年比+17.9%増益の5,230億円。セグメント利益率は、+1.9ポイント上昇し15.4%。
- リテールファイナンス部門の売上高は、前年比+10.9%増収の950億円。セグメント利益は、前年比▲23.0%減益の210億円。
- 産業機械他部門の売上高は、前年比+5.3%増収の2,010億円。セグメント利益は、前年比▲24.7%減益の170億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

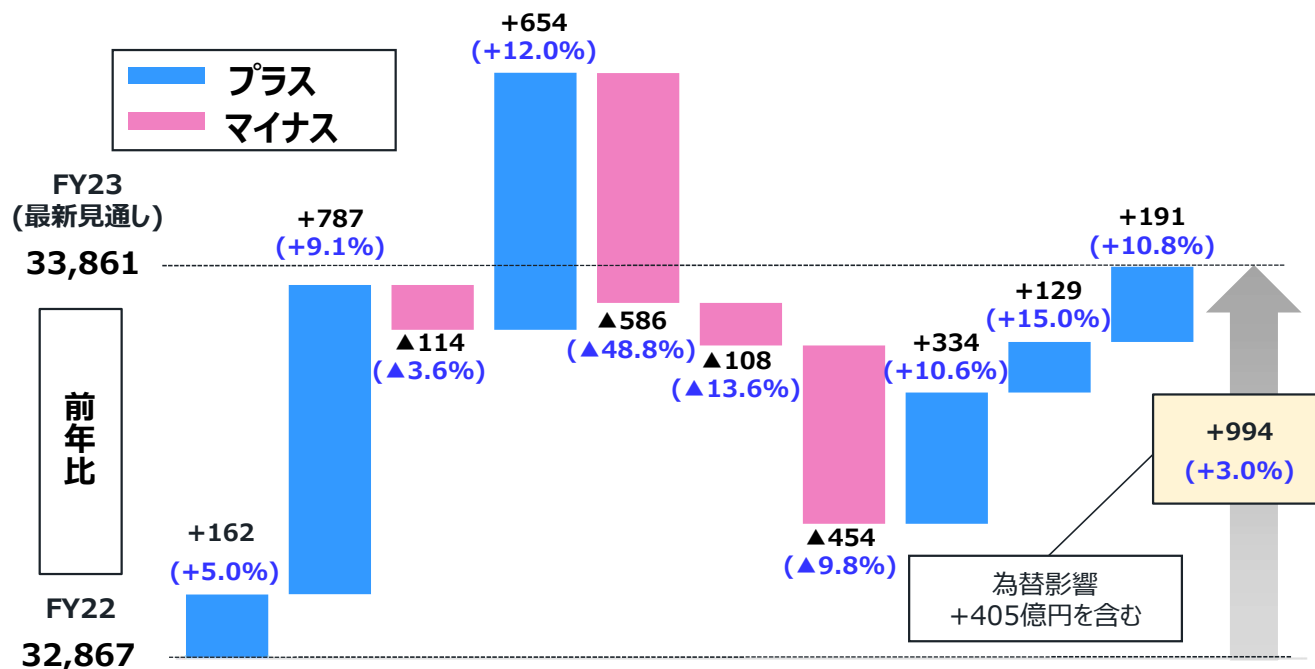
金額単位：億円	2022年度 (A)		2023年度 (最新見通し) (B)		2023年度 (4月見通し)		前年比 (B) - (A)	
							増減	増減率
売上高	35,435	36,600	33,820				+1,165	+3.3%
建設機械・車両	(32,867) 32,966	(33,861) 34,040	(31,168) 31,380			(+994) +1,074	(+3.0%) +3.3%	
リテールファイナンス	(678) 856	(738) 950	(645) 835			(+60) +94	(+8.9%) +10.9%	
産業機械他	(1,889) 1,909	(2,001) 2,010	(2,007) 2,010			(+111) +101	(+5.9%) +5.3%	
消去	▲ 297	▲ 400	▲ 405			▲ 103	-	
セグメント利益	□ 13.9% 4,935	□ 15.2% 5,570	□ 14.7% 4,980			□ +1.3ポイント +635	+12.9%	
建設機械・車両	□ 13.5% 4,436	□ 15.4% 5,230	□ 14.8% 4,630			□ +1.9ポイント +794	+17.9%	
リテールファイナンス	□ 31.8% 273	□ 22.1% 210	□ 20.4% 170			□ ▲9.7ポイント ▲63	▲23.0%	
産業機械他	□ 11.8% 226	□ 8.5% 170	□ 11.4% 230			□ ▲3.3ポイント ▲56	▲24.7%	
消去または全社	1	▲ 40	▲ 50			▲ 41	-	

各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
為替差および販売価格のプラス影響等により増収、増益。
- リテールファイナンス
新規取組高の増加や、為替のプラス影響等により増収、前年にあった貸倒引当金の戻入益がなくなる等により減益。
- 産業機械他
自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。
半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。

＜建設機械・車両＞2023年度地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

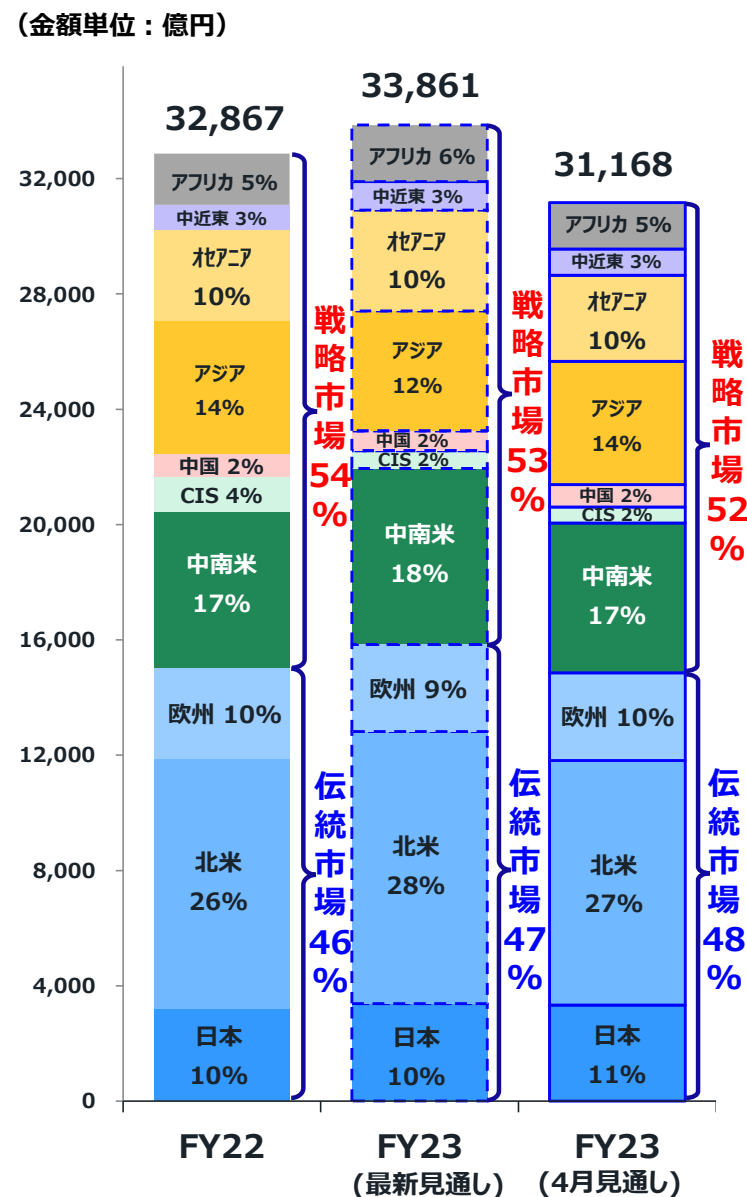
- ・外部顧客向け売上高は、前年比+3.0%増収の3兆3,861億円。
- ・北米、中南米などで売上高が大きく増加。CIS、アジアなどで売上高が大きく減少。
- ・伝統市場の比率は47%、戦略市場の比率は53%。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2022年度	3,217	8,649	3,140	5,451	1,202	797	4,616	3,162	863	1,770	32,867
2023年度 (最新見通し)	3,379	9,436	3,027	6,104	616	689	4,162	3,495	992	1,961	33,861
増減	+162	+787	▲114	+654	▲586	▲108	▲454	+334	+129	+191	+994

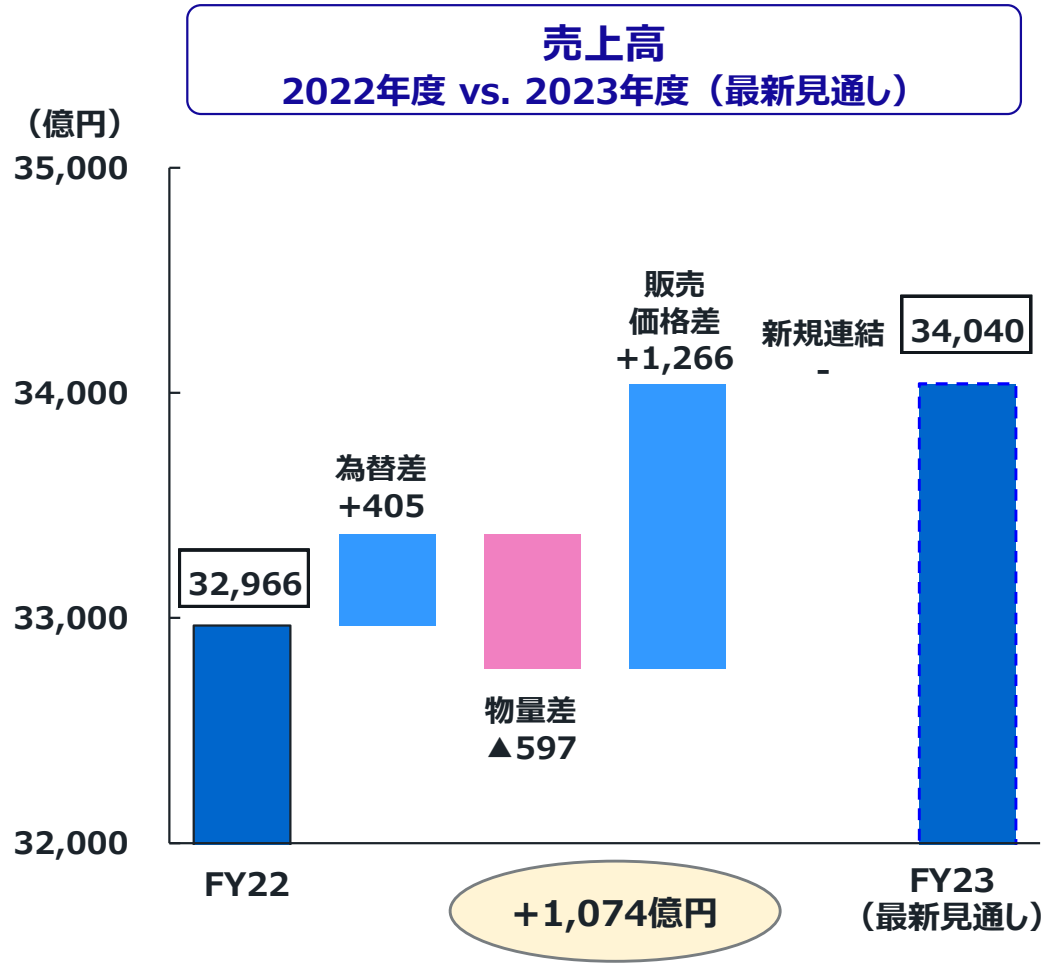
伝統市場

戦略市場



<建設機械・車両> 2023年度の売上高とセグメント利益の増減要因の見通し

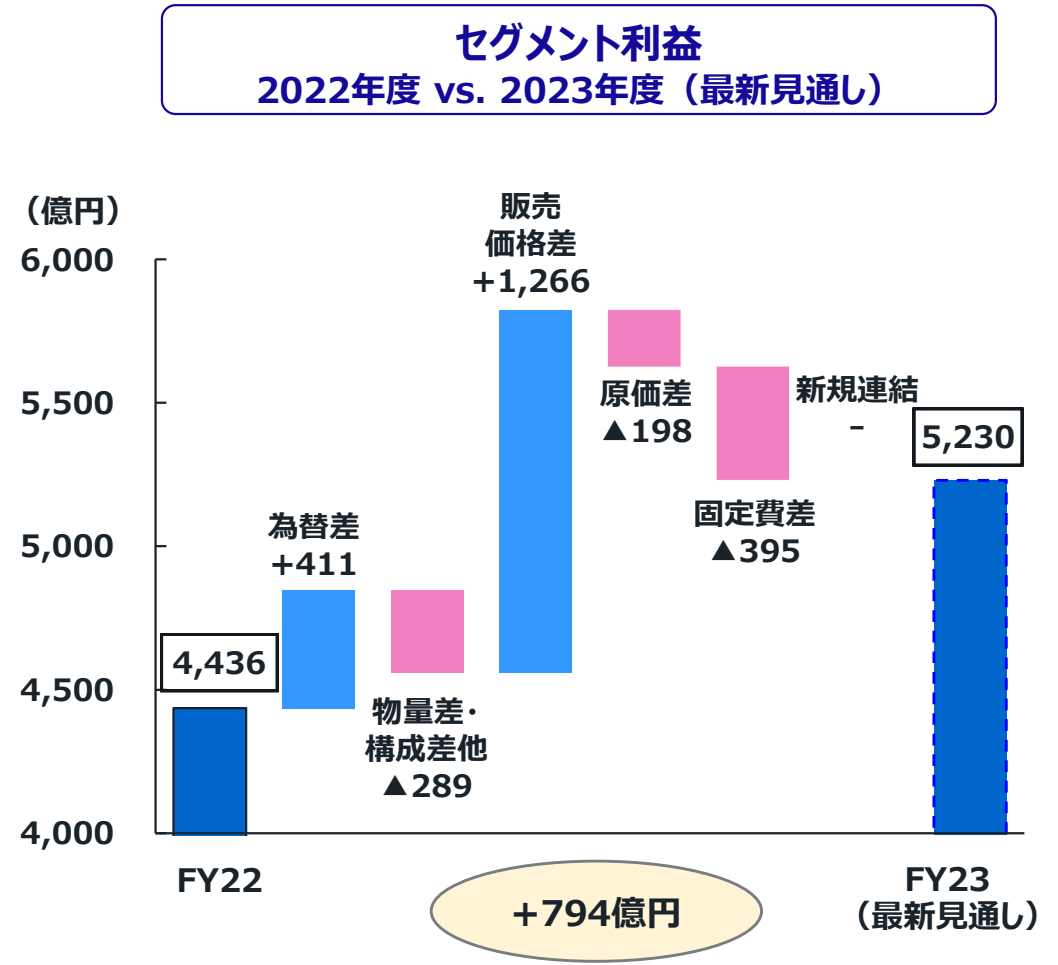
- ・売上高は、為替および販売価格のプラス影響により、前年比+1,074億円増収。
- ・セグメント利益は、原価や固定費の増加を為替および販売価格のプラス影響により吸収し、前年比+794億円増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年比+1.9ポイント上昇し15.4%。



¥134.8/USD
¥140.3/EUR
¥92.5/AUD

プラス要因
マイナス要因

¥137.7/USD
¥150.3/EUR
¥90.3/AUD



13.5%

プラス要因
マイナス要因

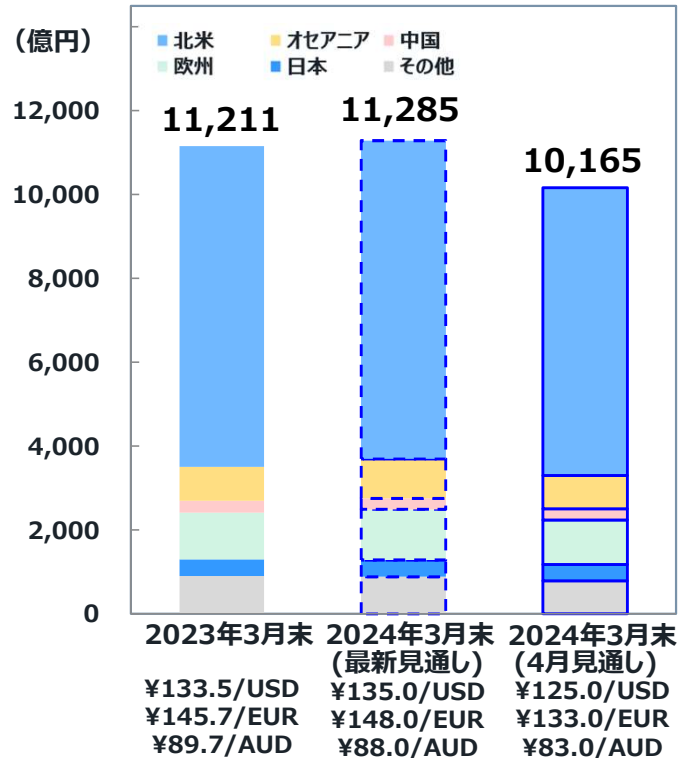
売上高セグメント利益率

15.4%

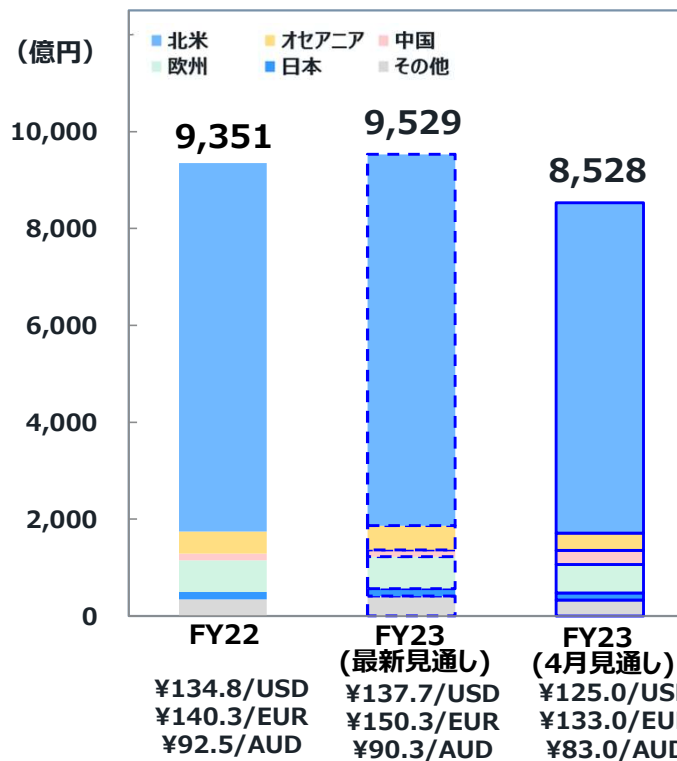
<リテールファイナンス> 2023年度の見通し

- ・資産は、主に為替の影響により、前年度末比+74億円の増加の見通し。
- ・新規取組高は、主に為替の影響により、前年比+178億円の増加の見通し。
- ・売上高は、金利上昇や為替の影響により前年比+94億円の増収の見通し。
- ・セグメント利益は、前年に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなること等により、前年比▲63億円の減益の見通し。

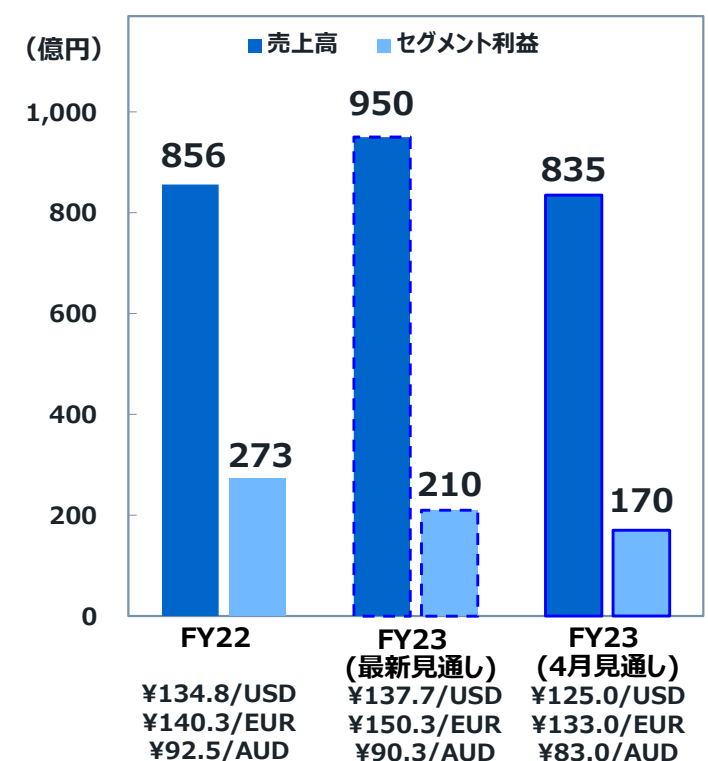
資産 2023年3月末 vs. 2024年3月末 (最新見通し)



新規取組高 2022年度 vs. 2023年度 (最新見通し)



収益 2022年度 vs. 2023年度 (最新見通し)



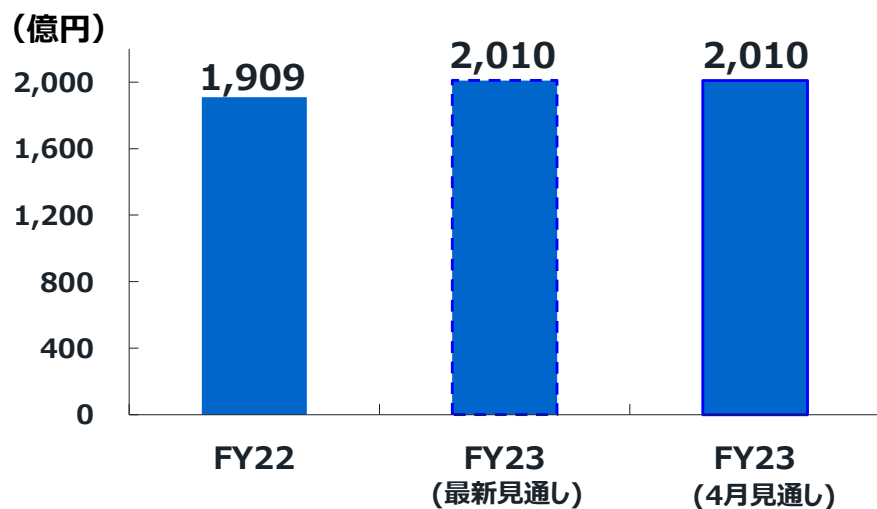
金額単位: 億円	2023年3月末 (A)	2024年3月末 (最新見通し) (B)	2024年3月末 (4月見通し)	前年度末比 (B) - (A)
借入金	8,569	8,780	7,843	+211
ネットベースの借入金	8,453	8,579	7,740	+126
ネットD/ELシオ	3.77	3.68	3.49	▲0.09ポイント

	2022年度 (A)	2023年度 (最新見通し) (B)	2023年度 (4月見通し)	前年比 (B) - (A)
ROA	2.6%	1.9%	1.6%	▲0.7ポイント

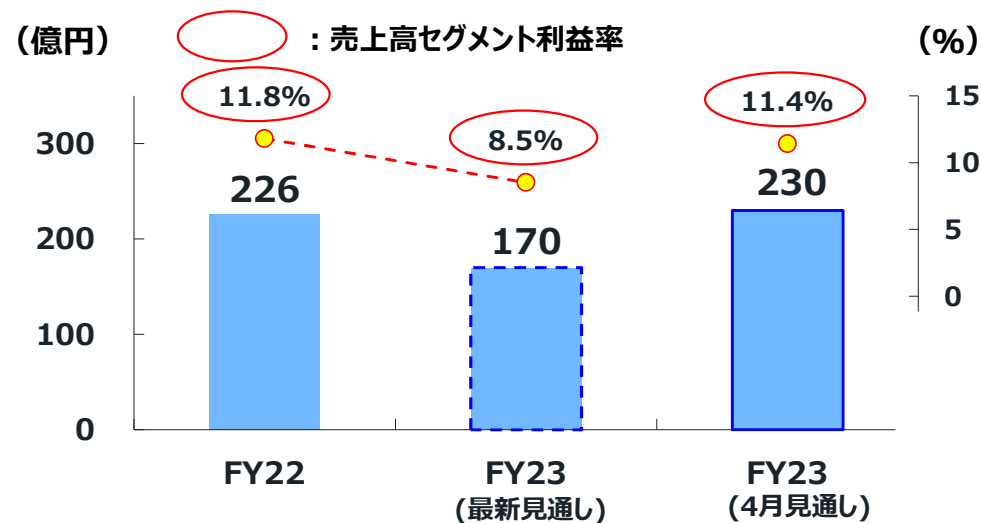
<産業機械他> 2023年度の売上高とセグメント利益の見通し

- ・売上高は、前年比+5.3%増収の2,010億円、セグメント利益は、前年比▲24.7%減益の170億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。
- ・半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。

売上高
2022年度 vs. 2023年度 (最新見通し)



セグメント利益
2022年度 vs. 2023年度 (見通し)



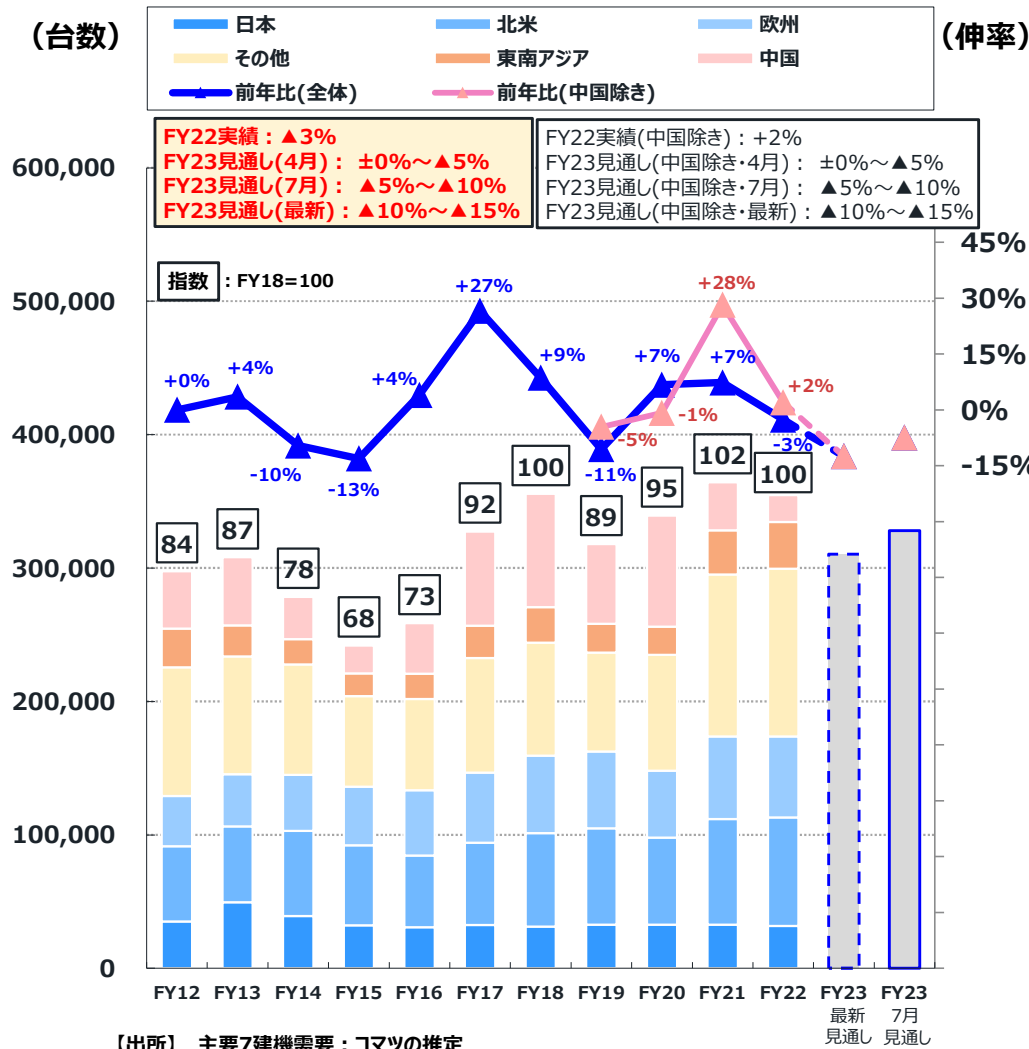
売上高の内訳

(億円)	2022年度	2023年度 (最新見通し)	2023年度 (4月見通し)	前年比	
				増減	増減率
コマツ産機	426	496	466	+70	+16.4%
コマツNTC	428	426	427	▲2	▲0.4%
ギガフォトン	585	589	626	+3	+0.5%
その他	470	499	491	+29	+6.2%
合計	1,909	2,010	2,010	+101	+5.3%

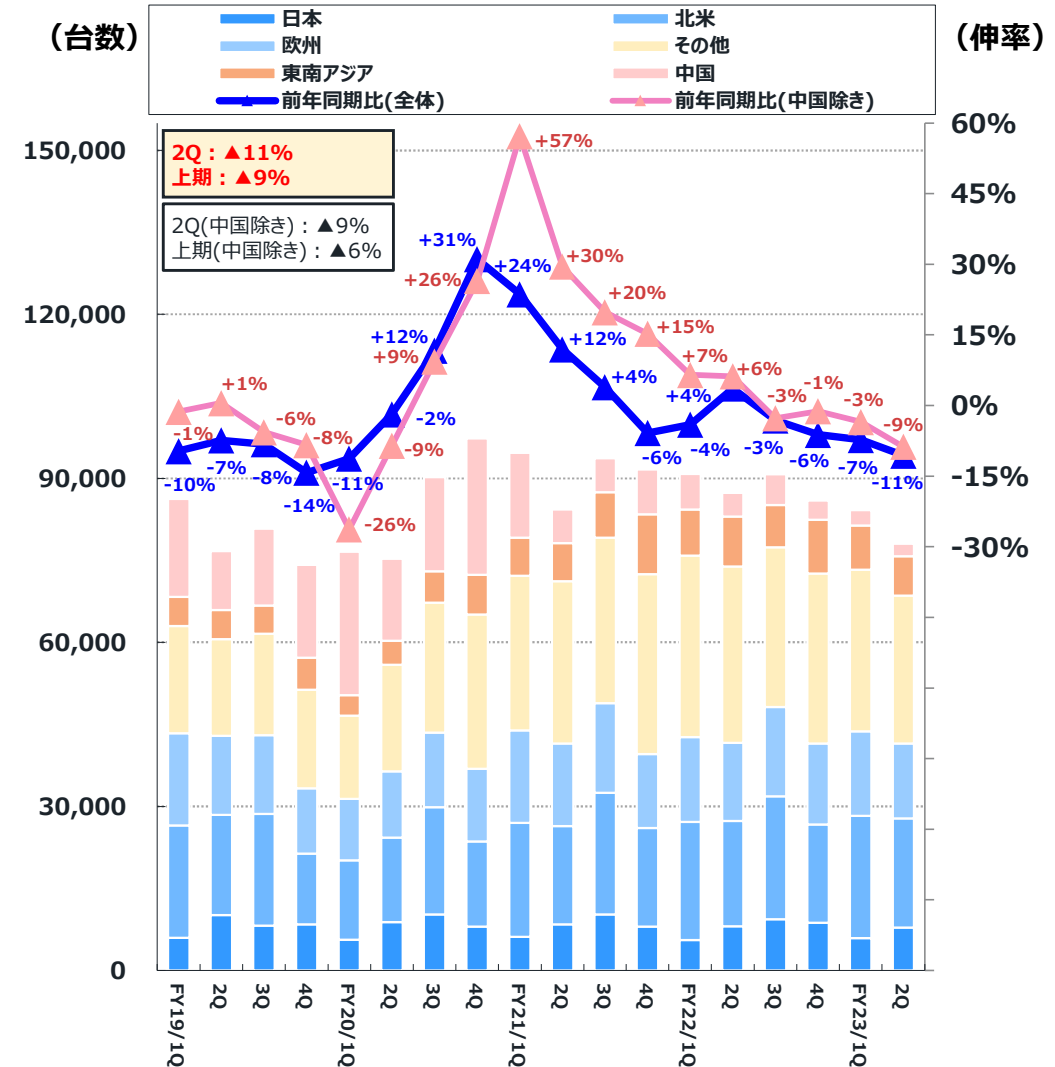
<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2023年度の第2四半期の需要は、前年同期比▲11%の減少。中国を除く地域では、前年同期比▲9%の減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（7月見通しより変更）。
中国を除く地域では、前年比▲10%～▲15%の見通し（7月見通しより変更）。

主要7建機 年度別需要推移



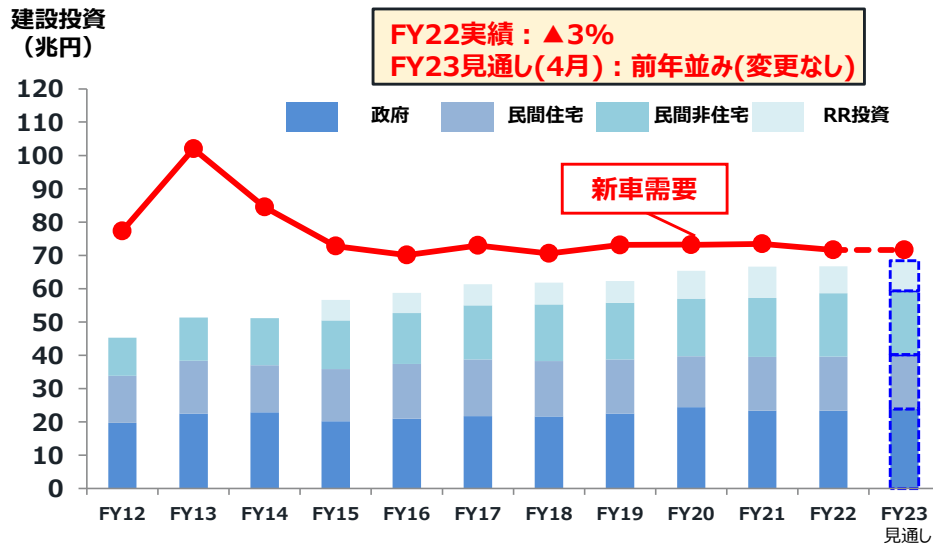
主要7建機 四半期別需要推移



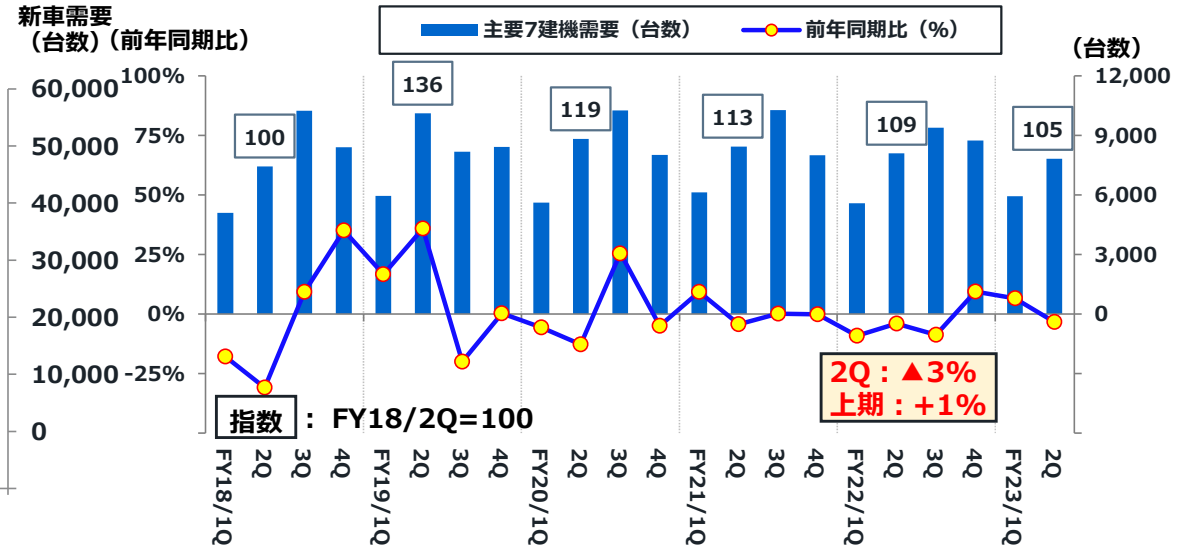
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2023年度第2四半期の需要は、前年同期比▲3%の減少。公共工事、民間工事向け共に堅調に推移。
- ・2023年度の需要は、前年並みの見通し（4月見通しから変更なし）。

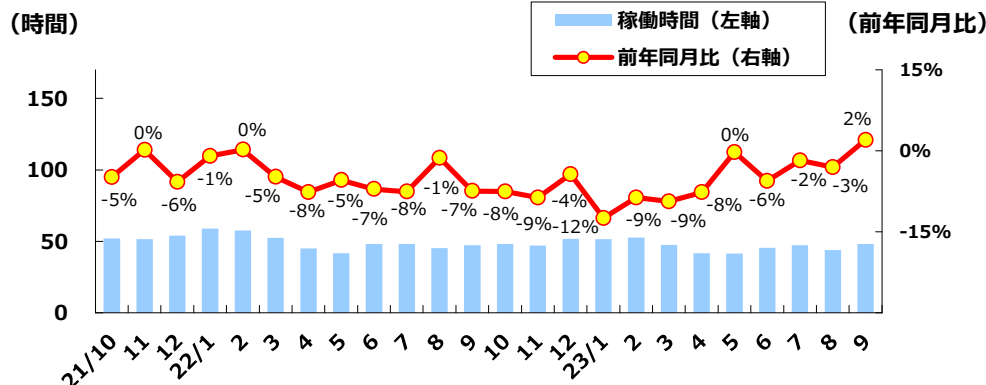
新車需要（主要7建機）と建設投資



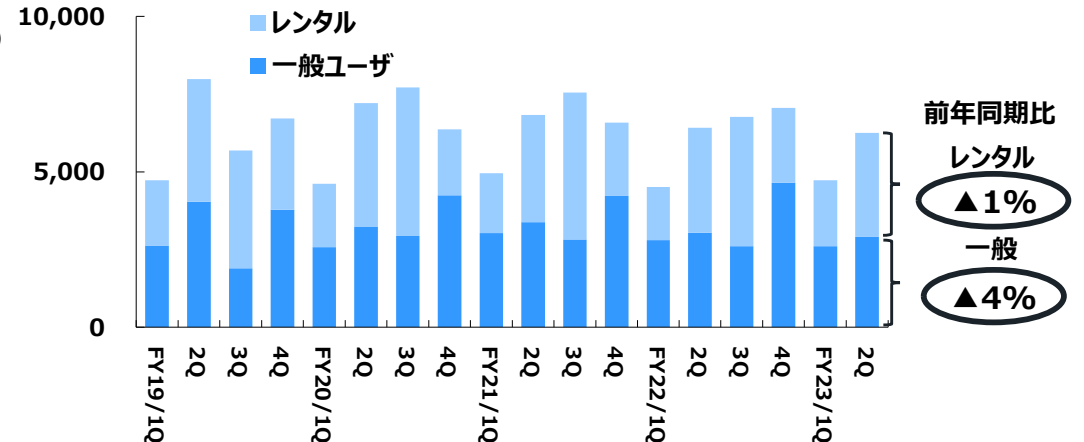
主要7建機 四半期別需要推移



Komtrax (日本) 月平均稼働時間推移



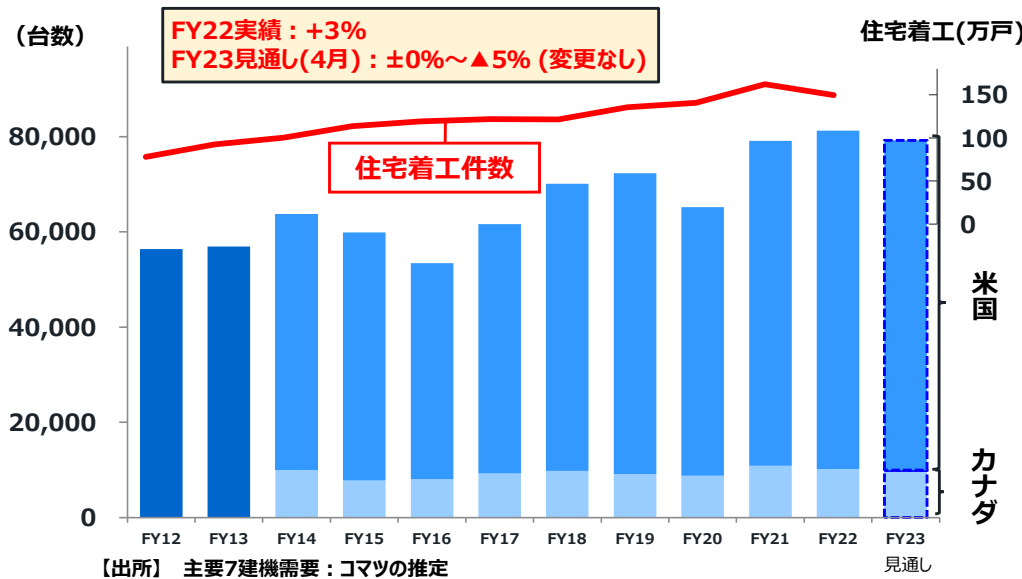
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



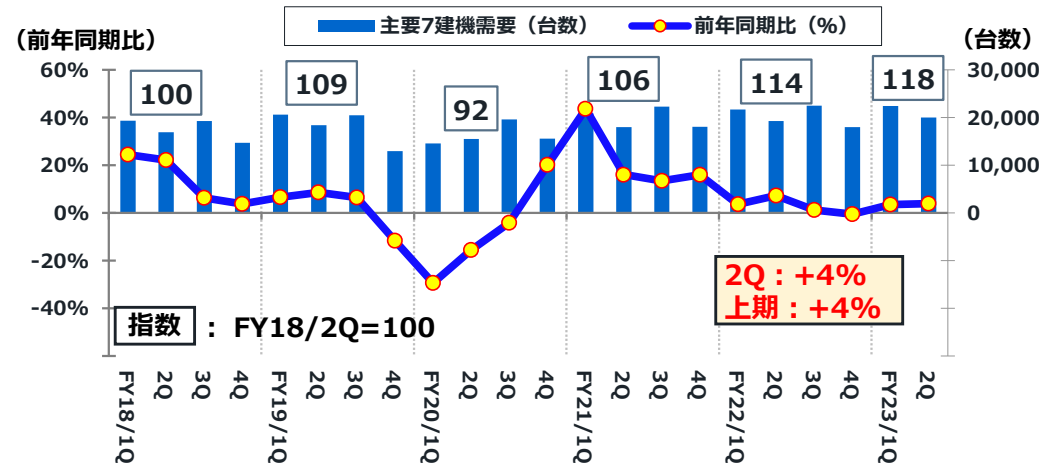
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2023年度第2四半期の需要は、前年同期比+4%の増加。金利上昇の影響で住宅建設向けの減少傾向があるものの、レンタル、インフラ、エネルギー関連向けが好調に推移。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しから変更なし）。

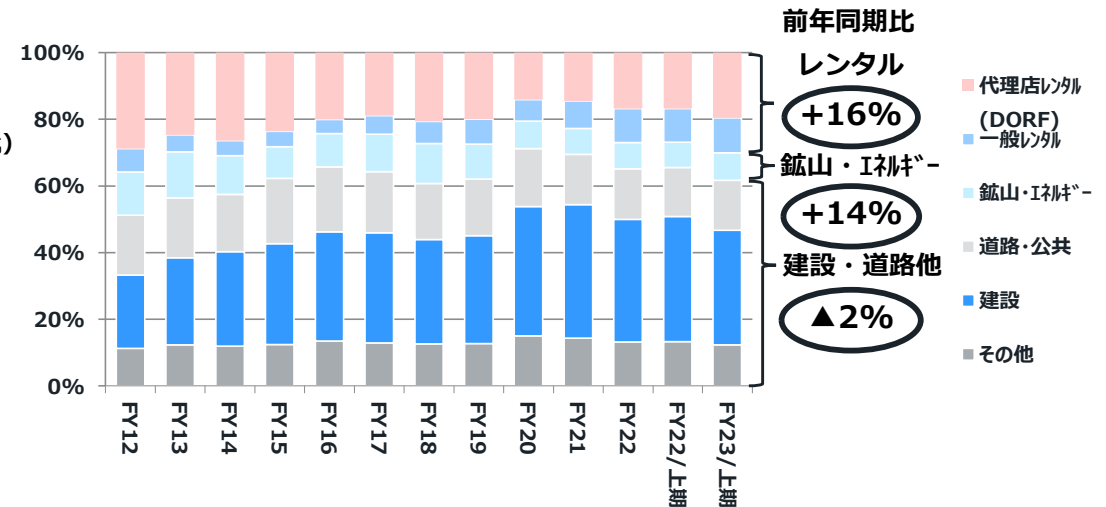
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



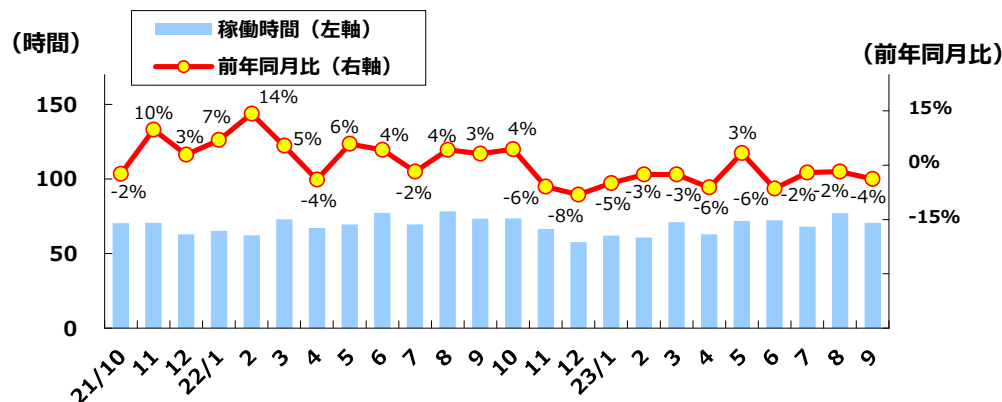
主要7建機 四半期需要推移



セグメント別需要構成比 (台数ベース)



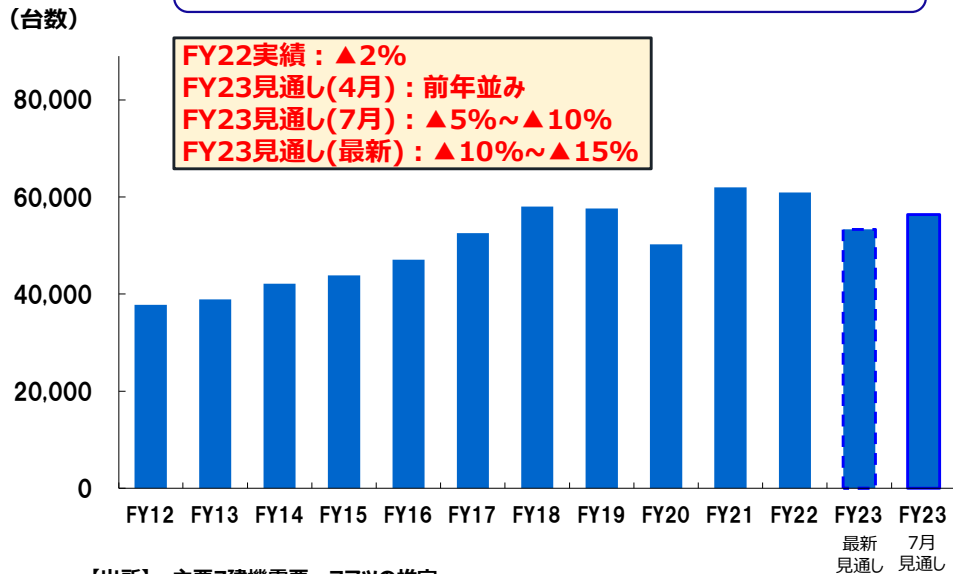
Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



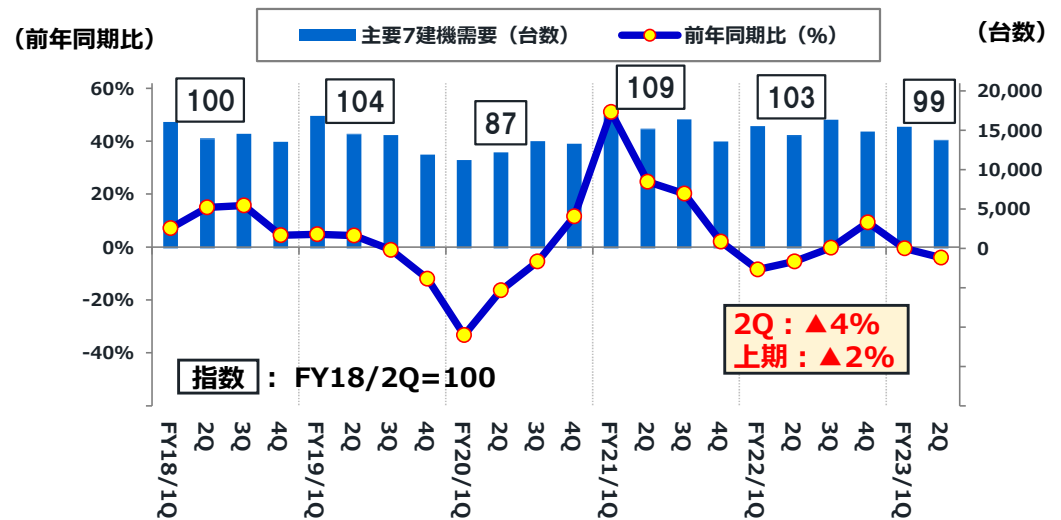
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：③欧州

- ・2023年度第2四半期の需要は、前年同期比▲4%の減少。急速な金利上昇と持続的な高インフレ等による影響で、主要市場のひとつであるイギリスや、イタリアなどを中心に一般建機の需要が減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（7月見通しより変更）。

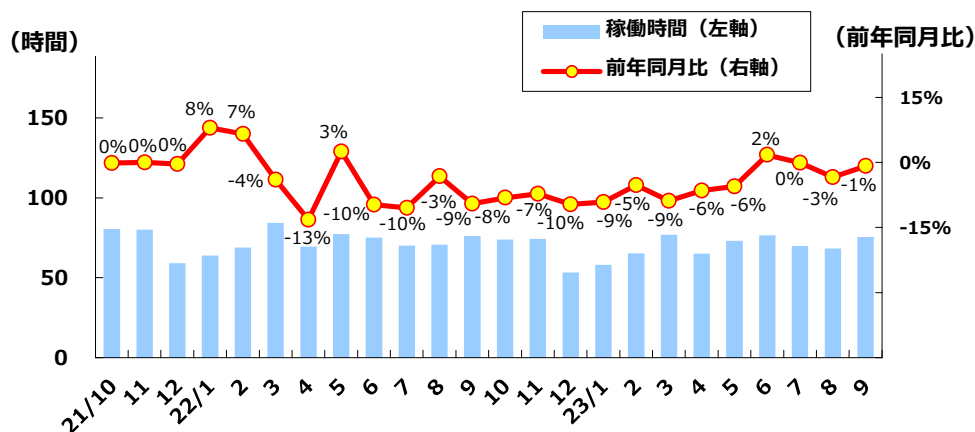
主要7建機 年度別需要推移



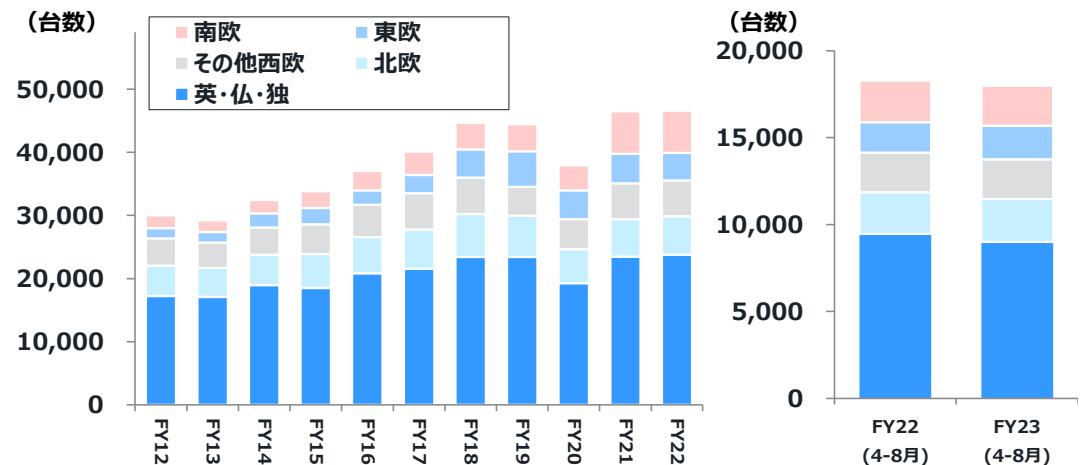
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax（欧州）月平均稼働時間推移



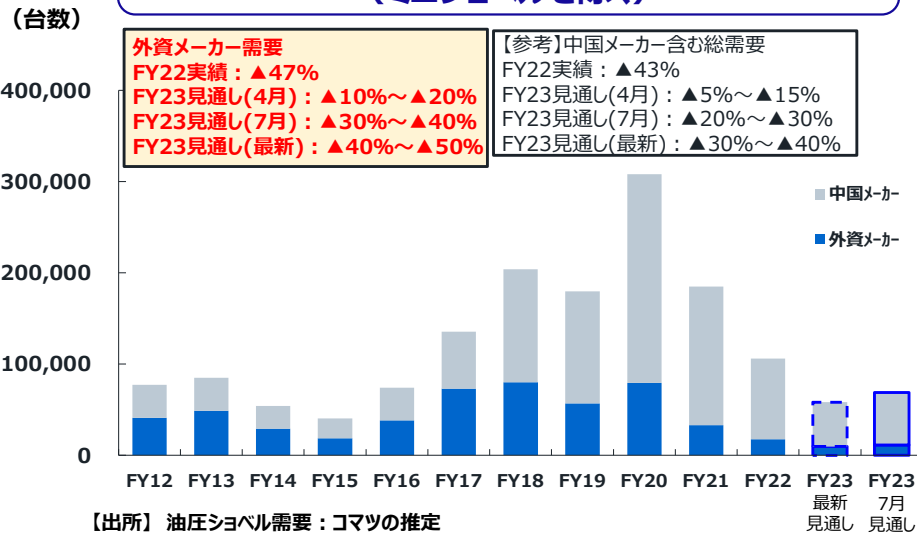
主要7建機（6tクラス除く）地域別需要



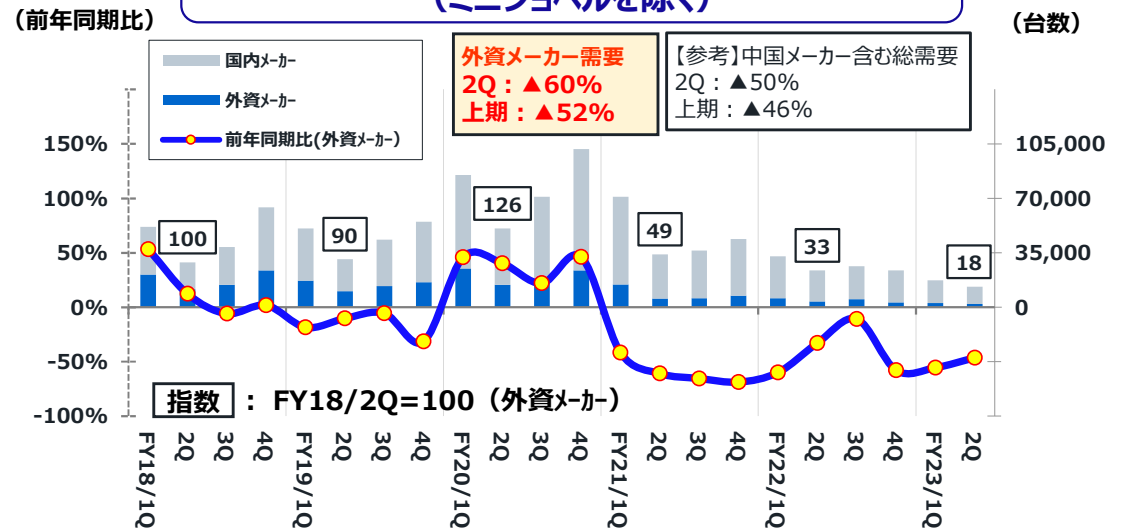
＜建設機械・車両＞主要市場の需要推移と見通し：④中国

- ・2023年度第2四半期の需要は、前年同期比▲60%の減少。不動産市況の低迷などに起因した経済活動の停滞などにより需要が大幅に減少する状況が継続。
- ・2023年度の需要は、前年比▲40%～▲50%の見通し（7月見通しより変更）。

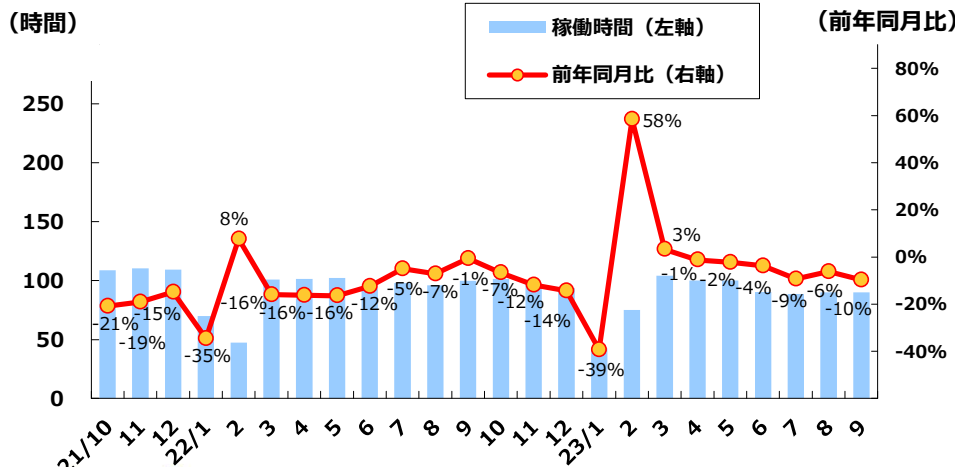
油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



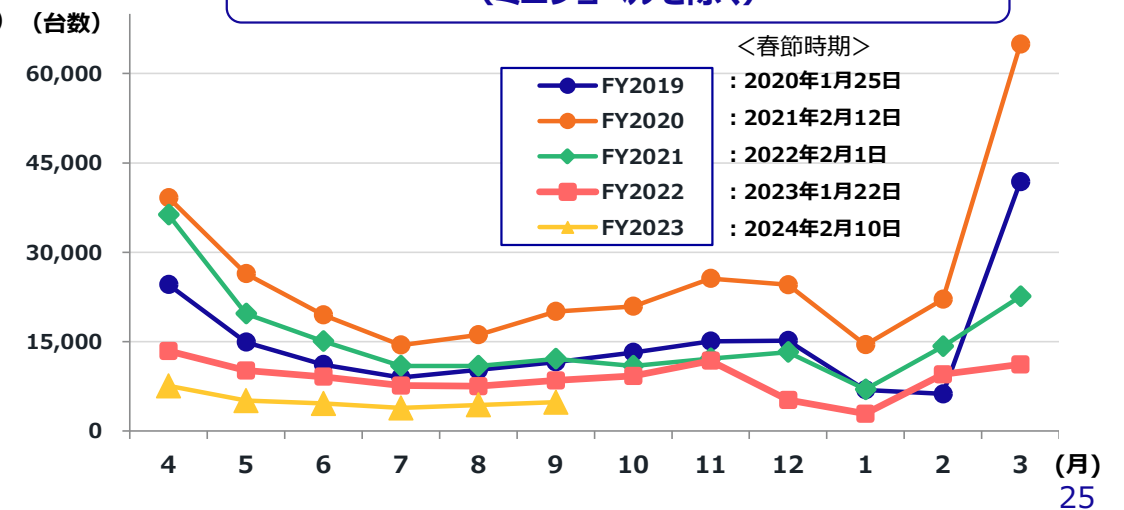
油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



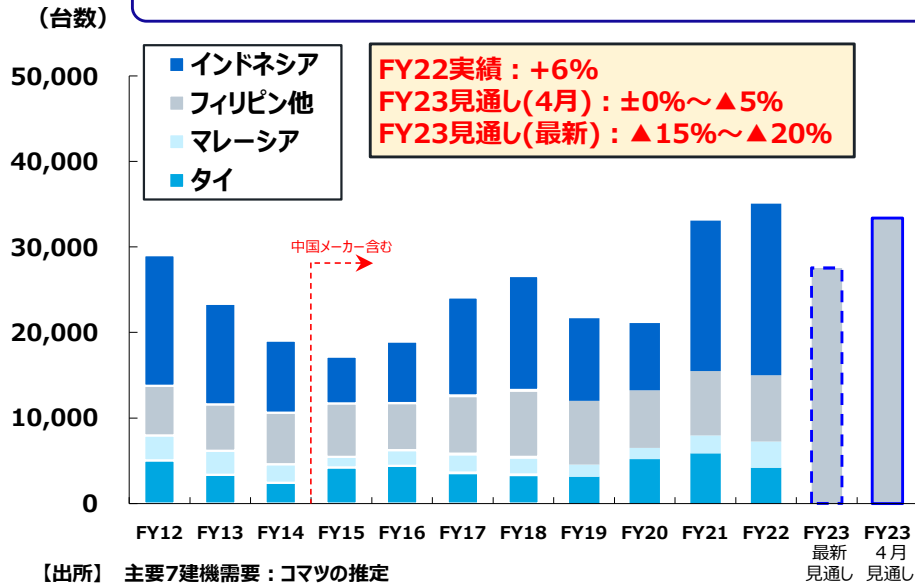
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



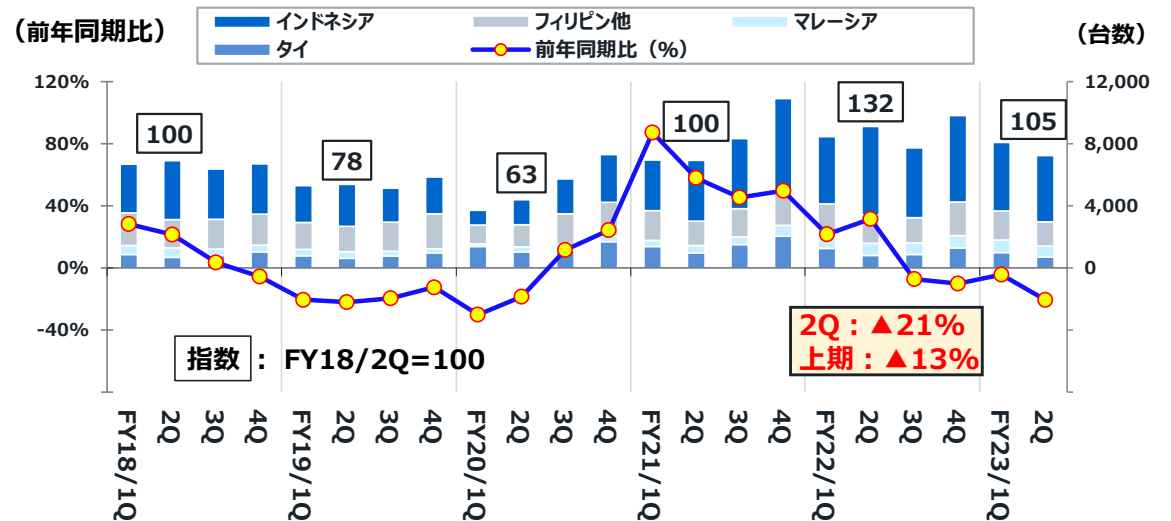
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：⑤ 東南アジア

- ・2023年度第2四半期の需要は、前年同期比▲21%の減少。鉱山機械ではインドネシアなどで需要が堅調に推移したものの、一般建機ではインドネシア、タイ、ベトナムなどで公共事業予算執行の遅れなどにより需要が大幅に減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲15%～▲20%の見通し（4月見通しより変更）。

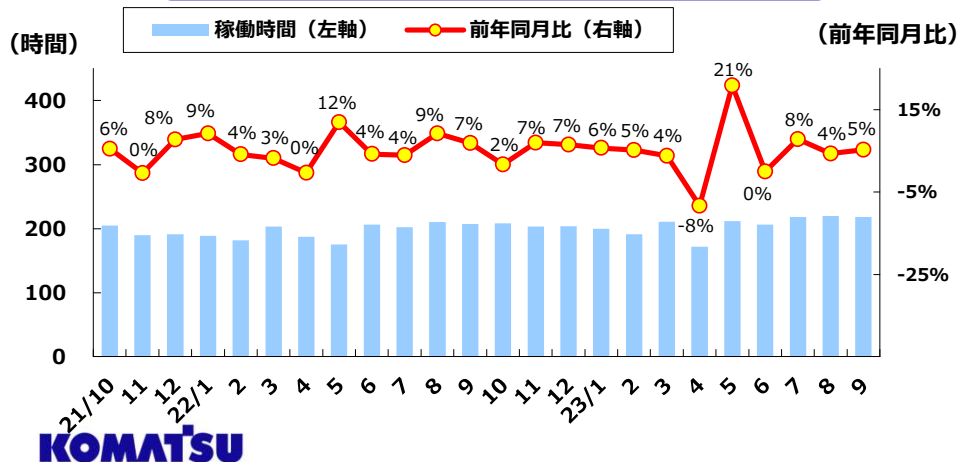
主要7建機 年度別需要推移



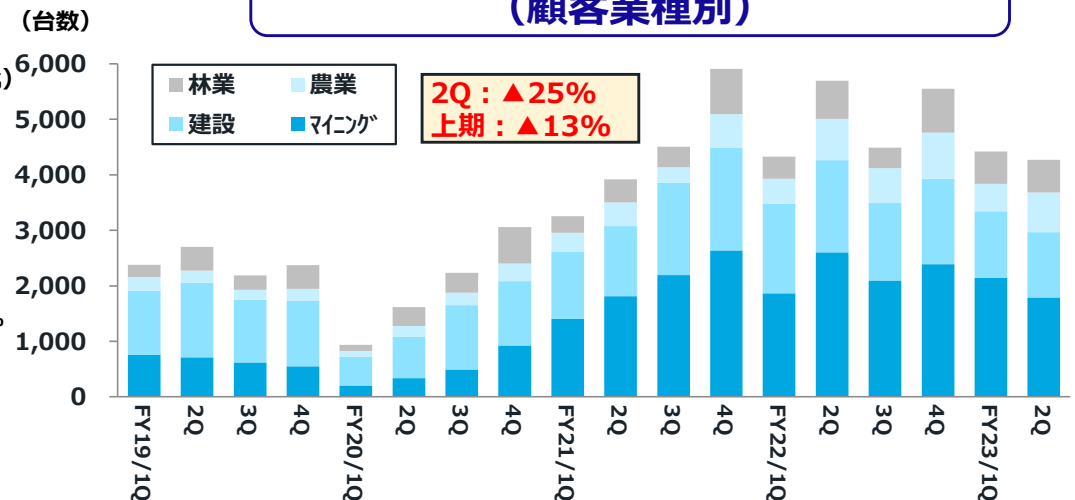
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax（インドネシア） 月平均稼働時間推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 （顧客業種別）

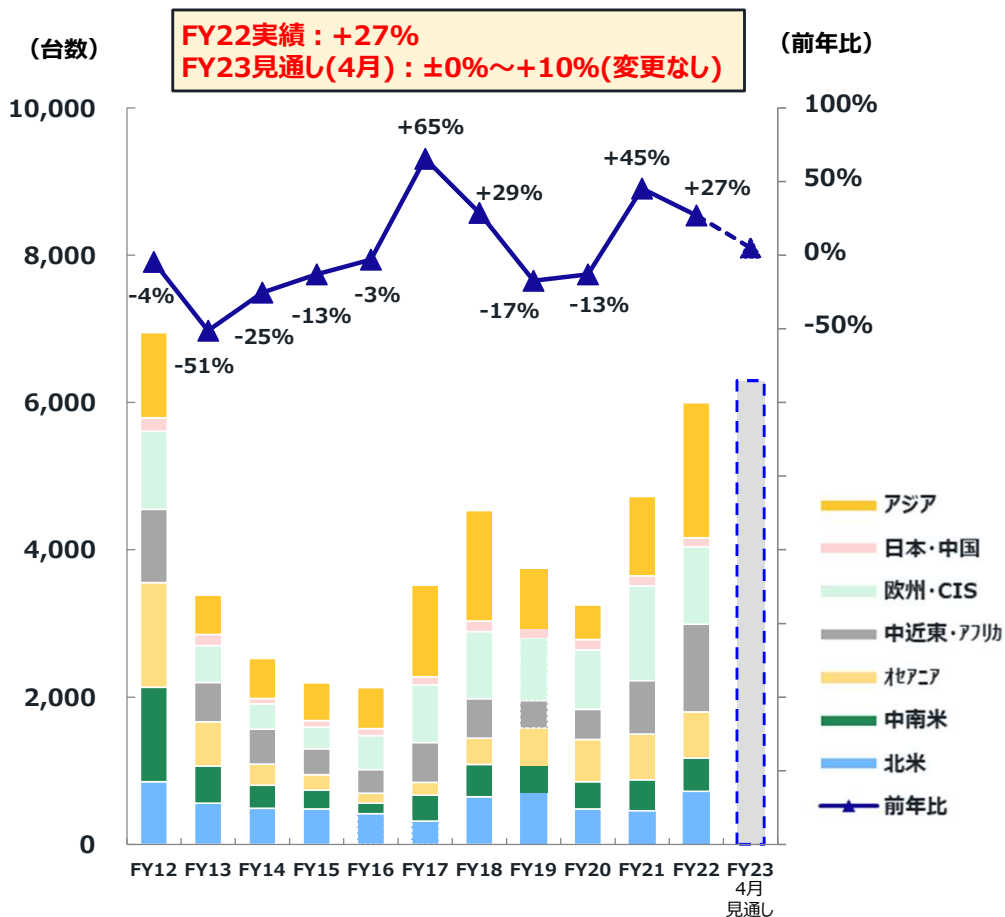


＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

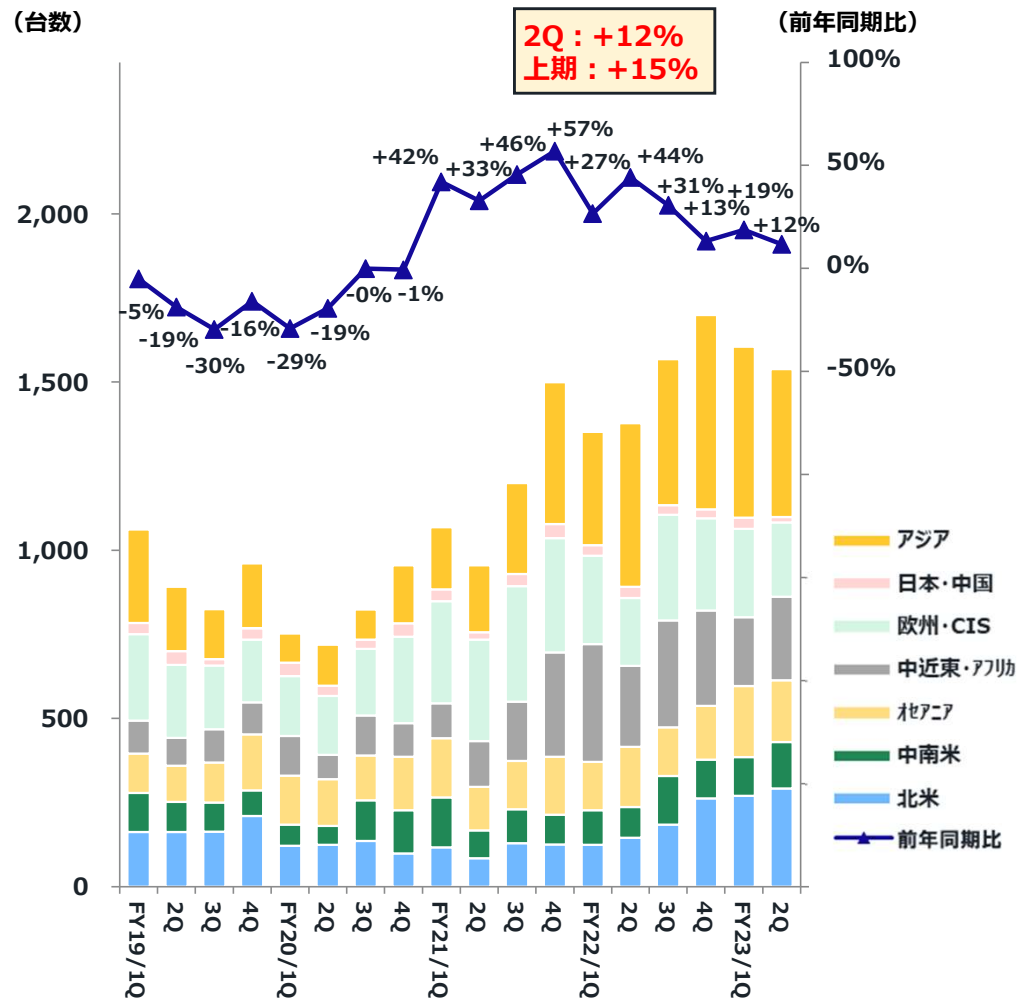
- ・2023年度第2四半期の需要は、前年同期比+12%の増加。北米などで需要が増加。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～+10%の見通し（4月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別需要推移

- ・ダンプトラック：75t（HD785）以上 ・フルパワー：525HP（D375）以上
- ・エクスカベーター：200t（PC2000）以上 ・ホイールローダー（機械駆動）：810HP（WA800）以上
- ・モーターグレーダー：280HP（GD825）以上



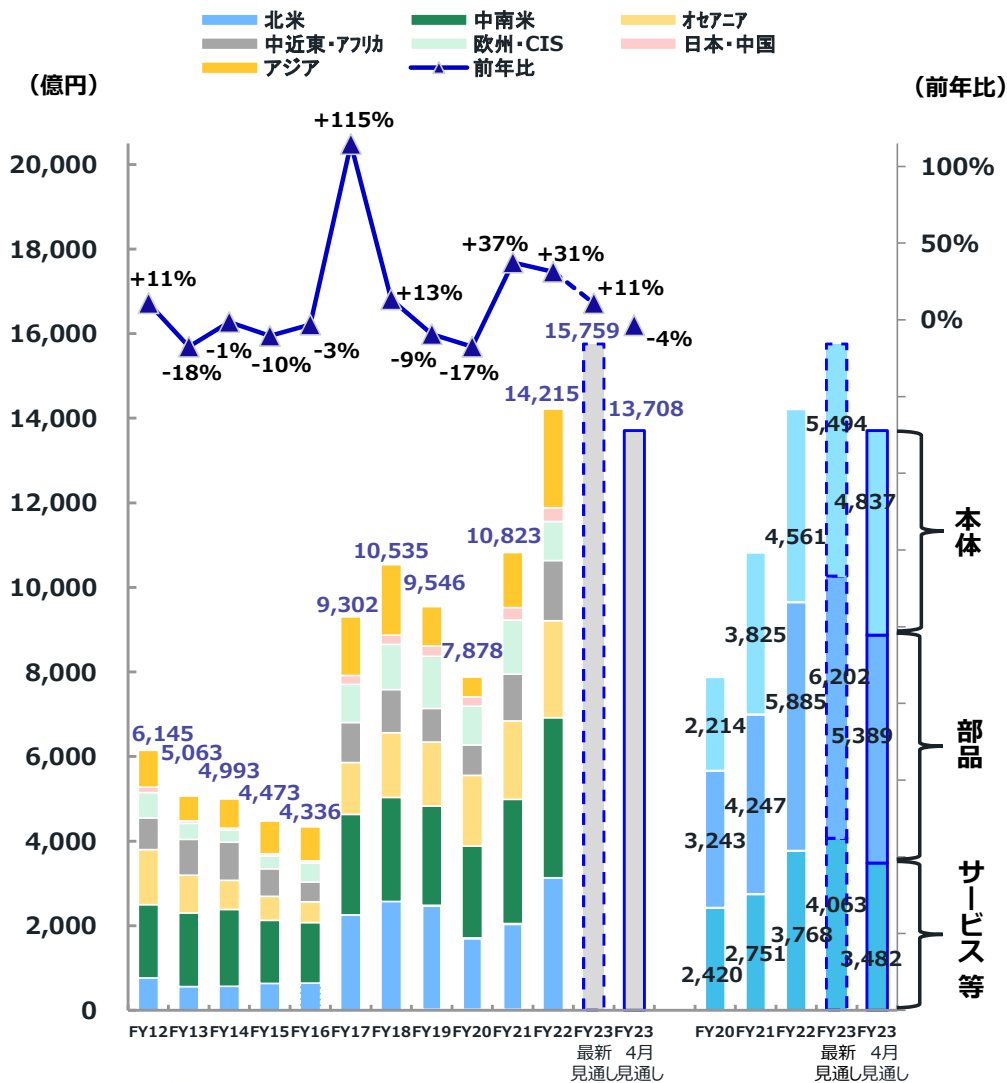
鉱山機械 四半期別需要推移



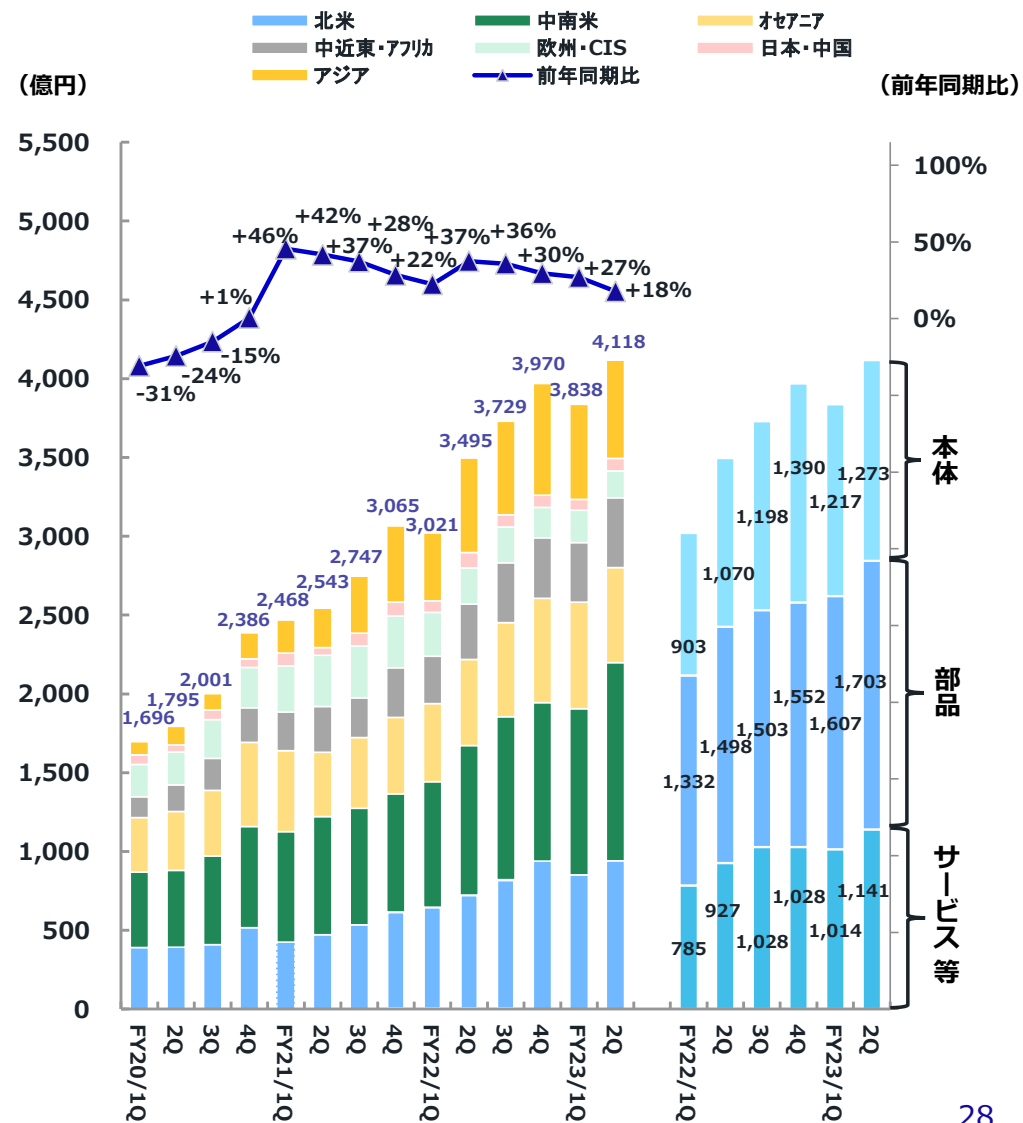
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2023年度第2四半期の売上高は、前年同期比+18%増収の4,118億円。
- ・2023年度の売上高は、前年比+11%増収の1兆5,759億円の見通し（4月見通しより変更）。

鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）



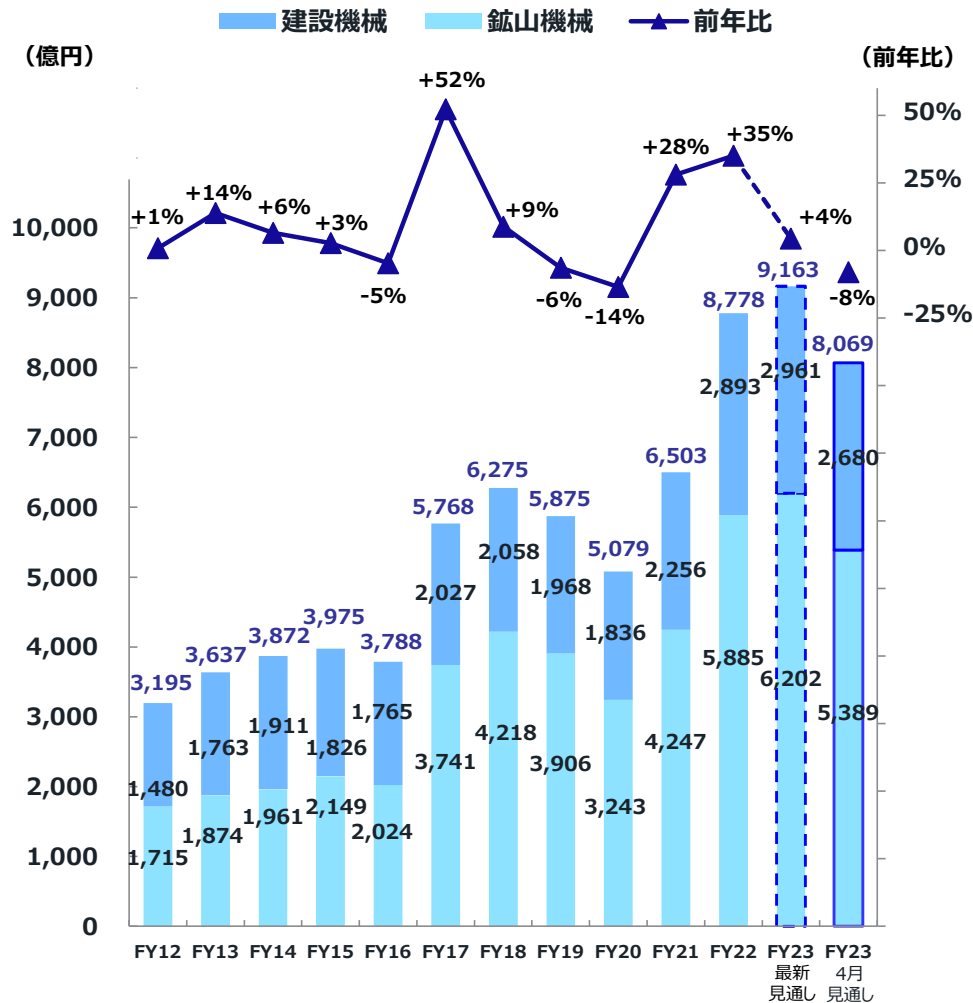
鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



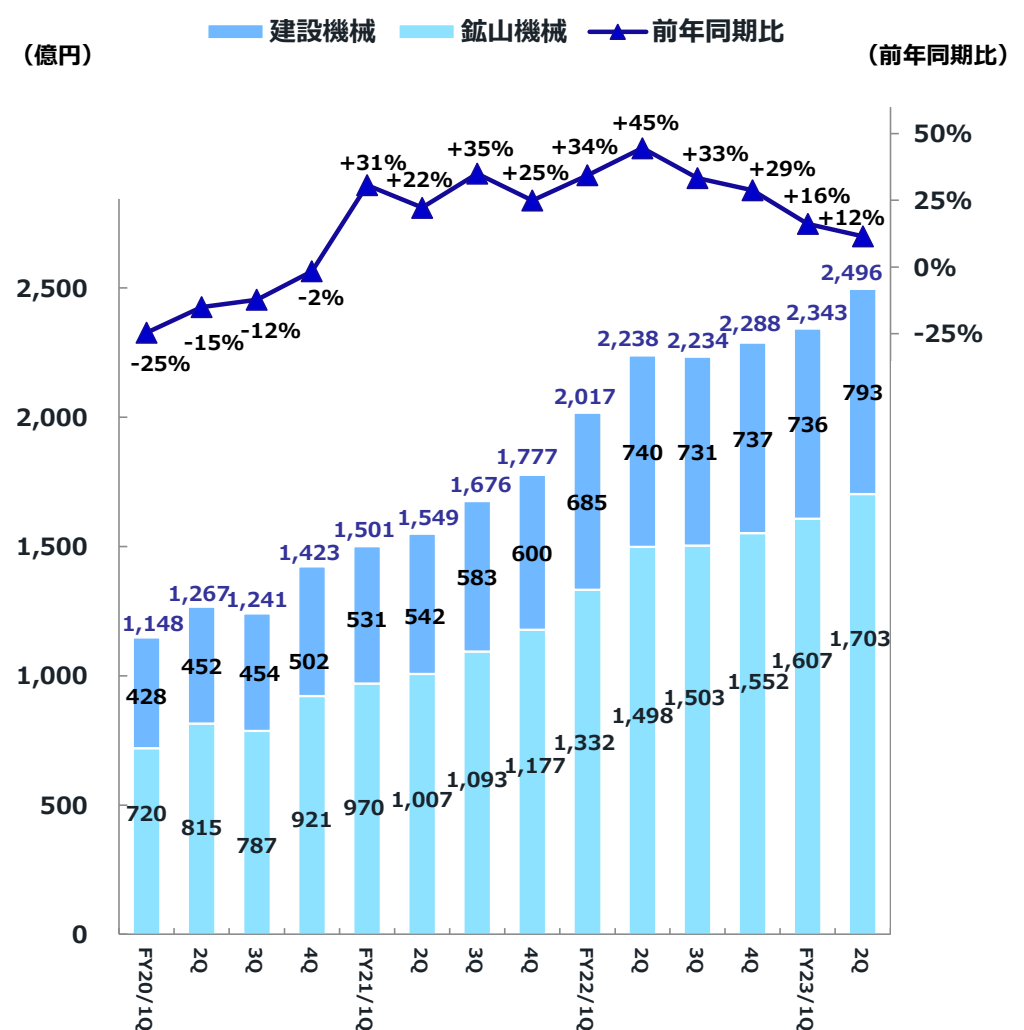
＜建設機械・車両＞ 部品の売上高の見通し

- ・2023年度第2四半期の部品売上高は、前年同期比+12%増収の2,496億円。
- ・2023年度の部品売上高は、前年比+4%増収の9,163億円の見通し（4月見通しより変更）。

部品 年度別売上高



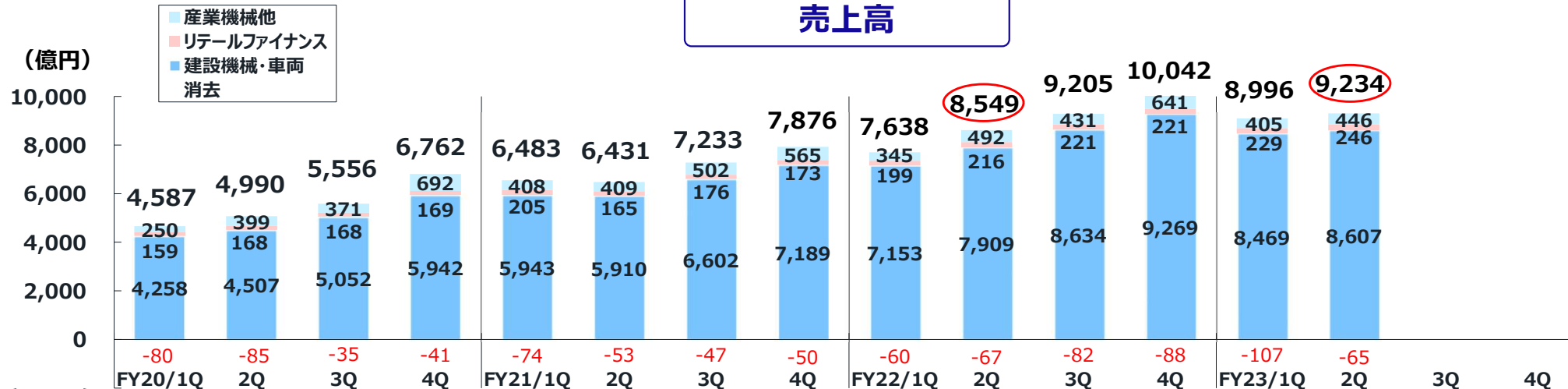
部品 四半期別売上高



参考資料

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

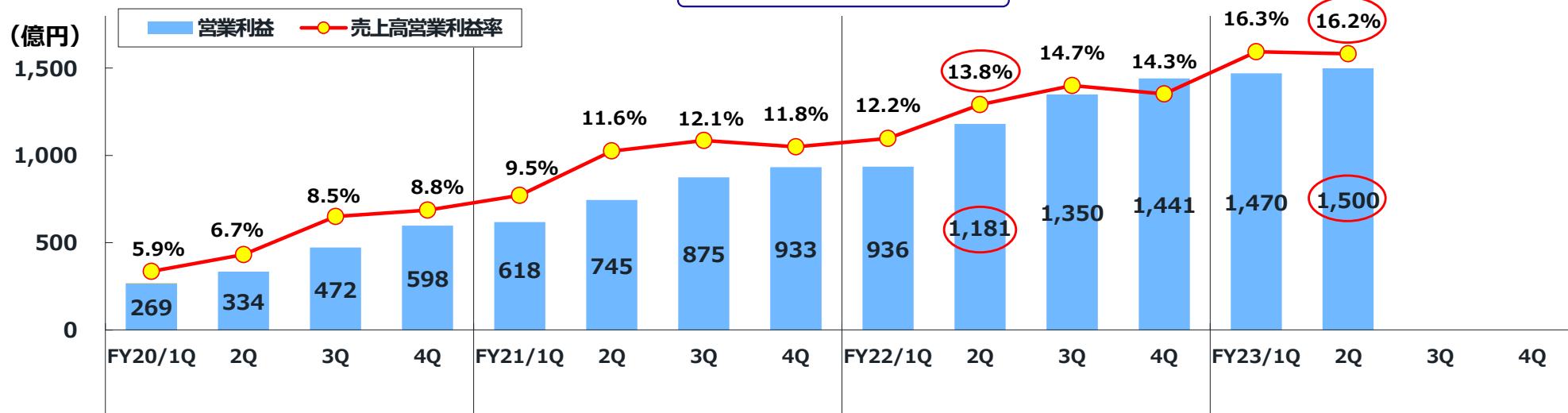
売上高



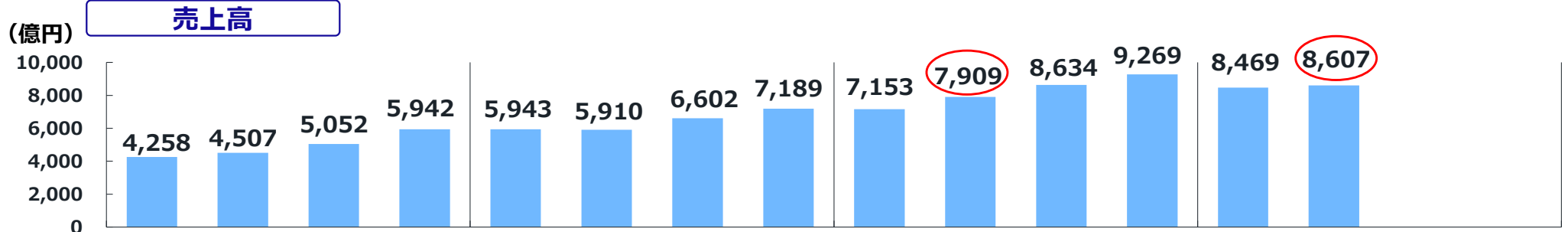
為替
レート

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2		
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3		
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4		

営業利益

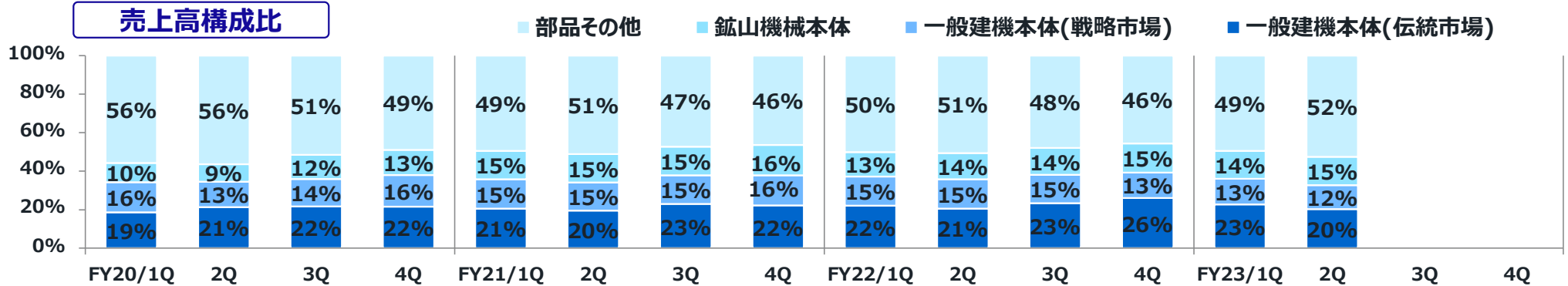
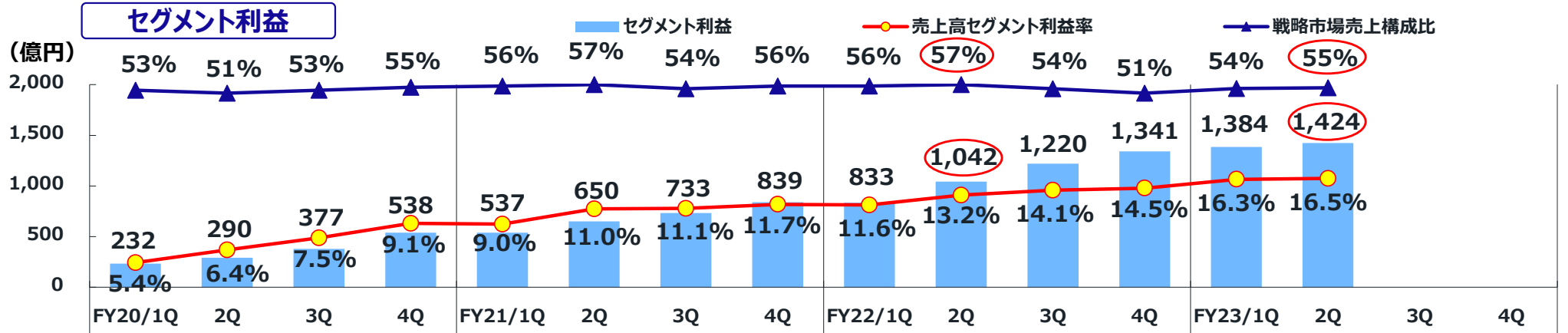


【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



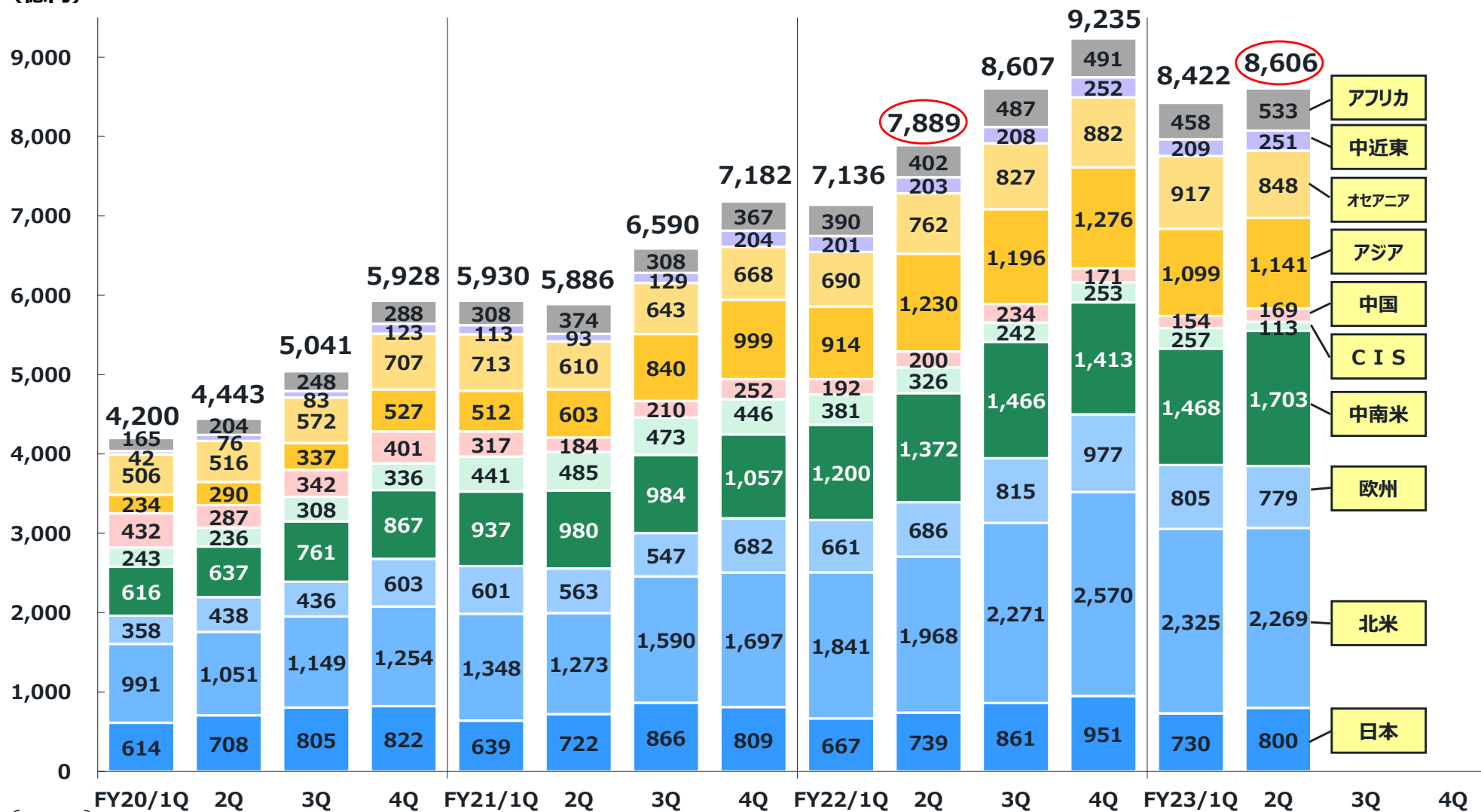
為替レート

	FY20/1Q				FY21/1Q				FY22/1Q				FY23/1Q			
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2		
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3		
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4		



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

(億円)

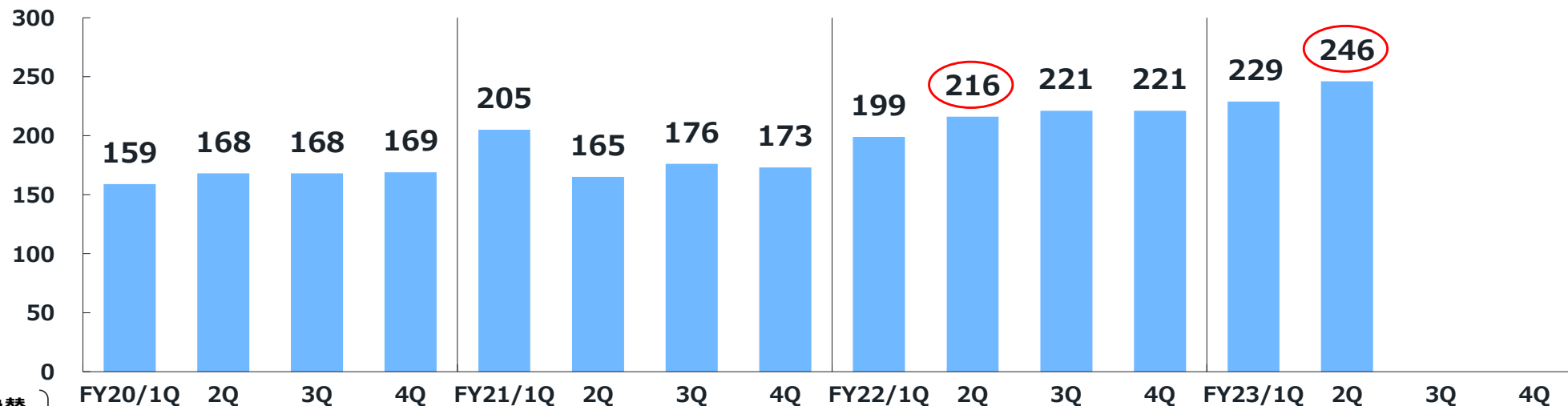


為替レート	FY20				FY21				FY22				FY23			
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2		
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3		
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4		

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)

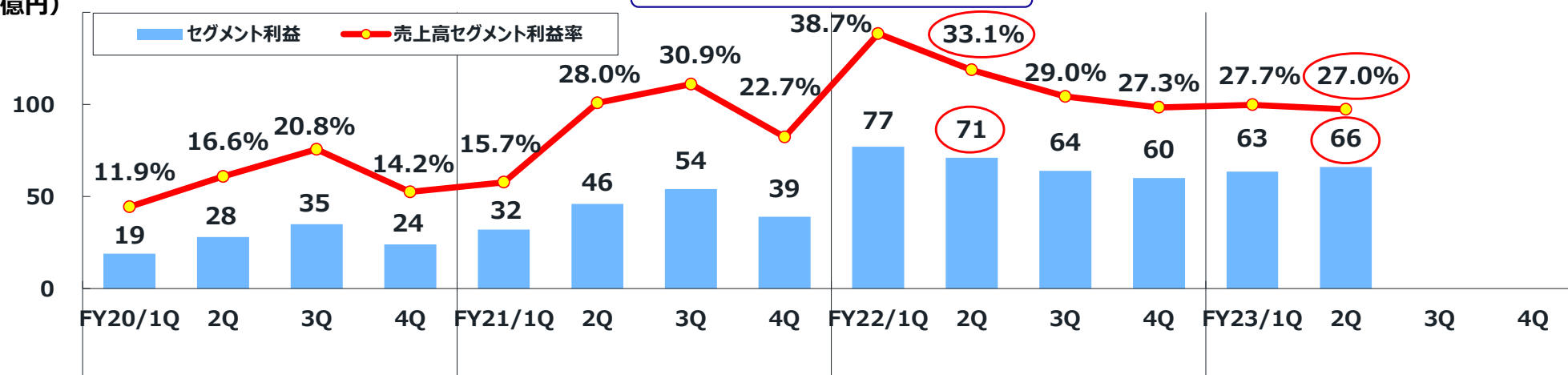


(為替レート)

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2		
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3		
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4		

セグメント利益

(億円)



【参考資料】 <産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

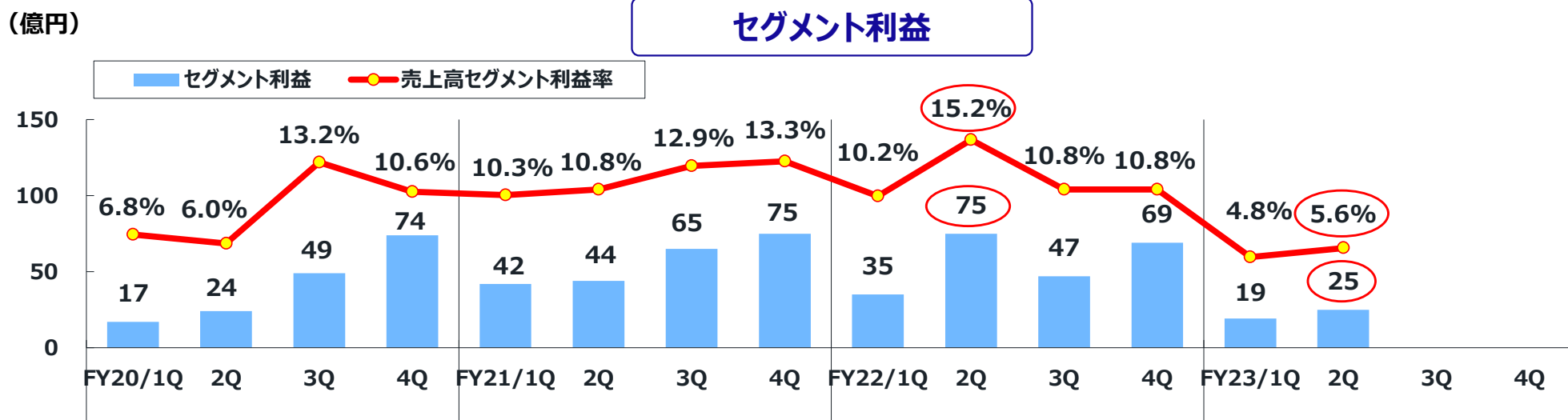
売上高



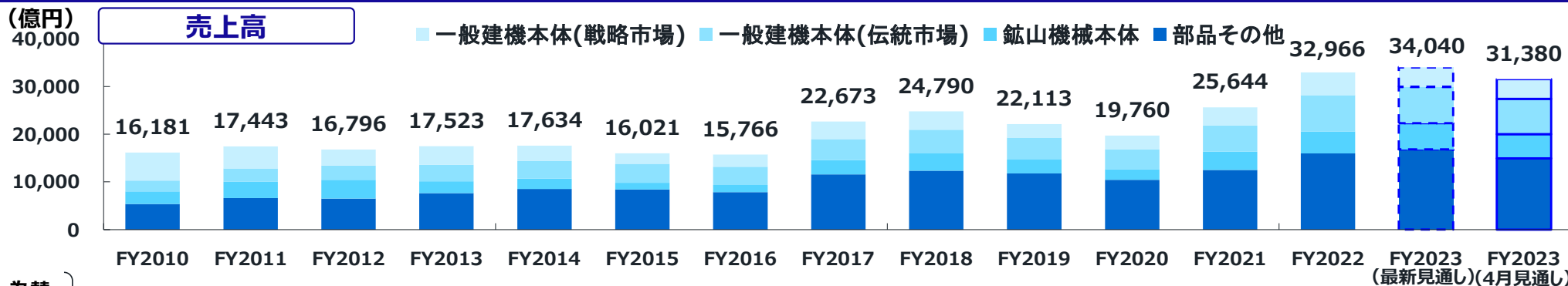
為替
レート

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2		
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3		
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4		

セグメント利益

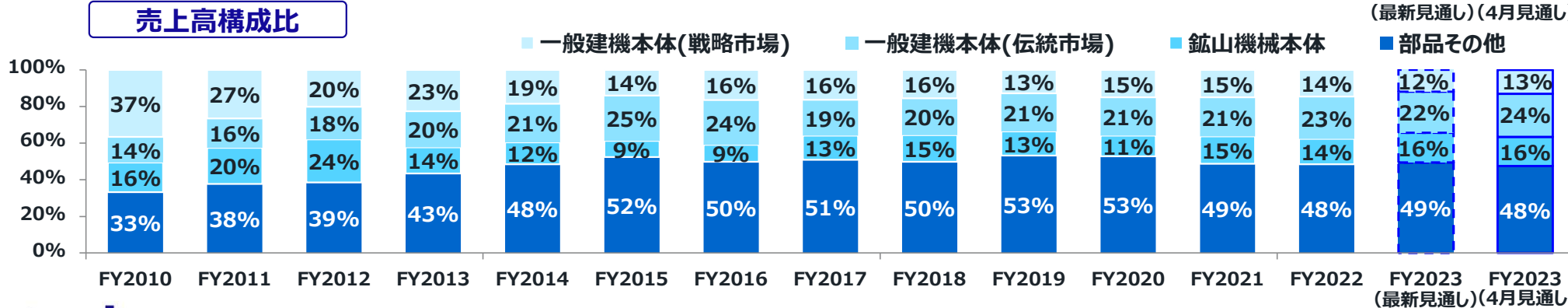
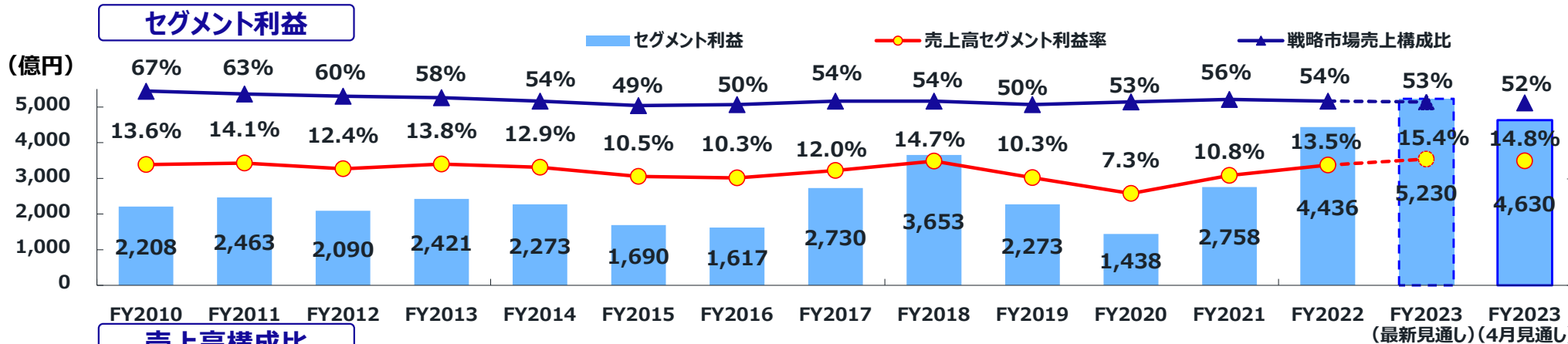


【参考資料】＜建設機械・車両＞売上高とセグメント利益の推移

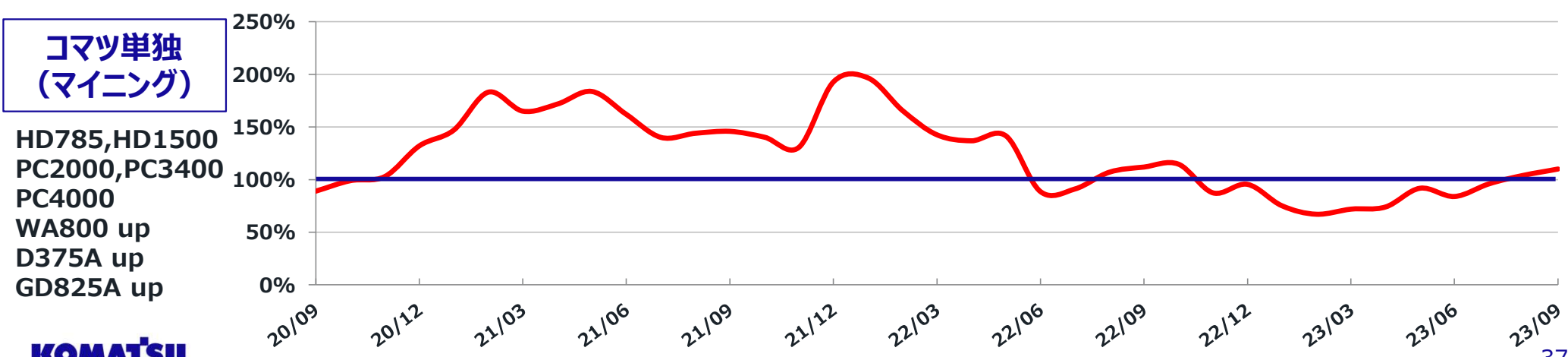
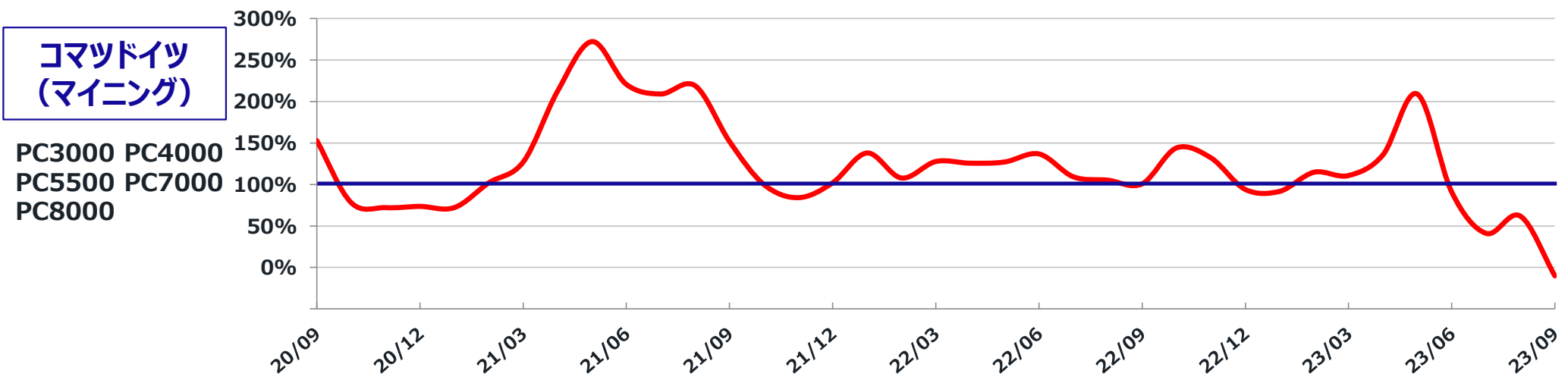
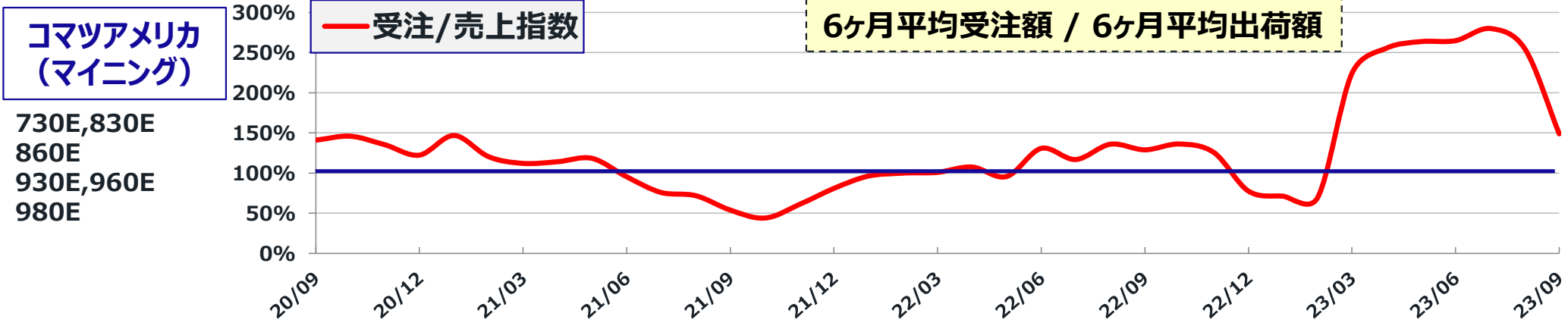


為替レート

	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023 (最新見通し)	FY2023 (4月見通し)
¥/USD	85.0	79.0	82.5	99.6	109.7	120.8	108.6	111.2	110.6	108.7	106.0	112.1	134.8	137.7	125.0
¥/EUR	113.0	110.0	106.6	132.8	139.6	132.4	119.3	129.6	128.5	120.8	123.4	130.4	140.3	150.3	133.0
¥/AUD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82.7	92.5	90.3	83.0



【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）



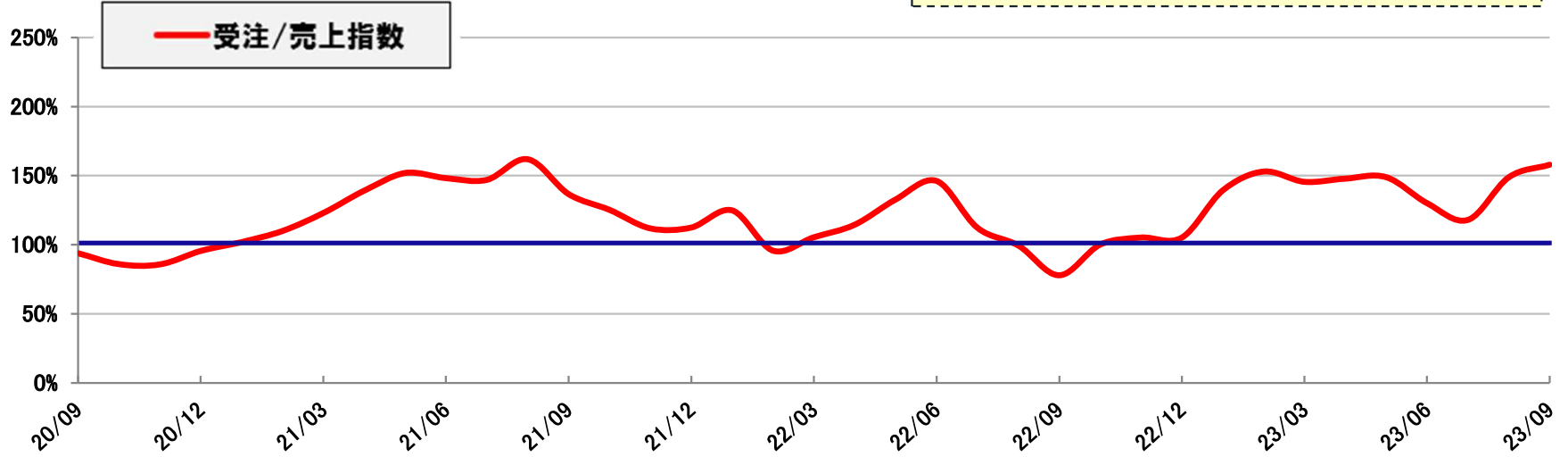
【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

KMC (マイニング)

- <露天掘り>
- ロープショベル
- ブラストホールドリル
- ドラグライン他

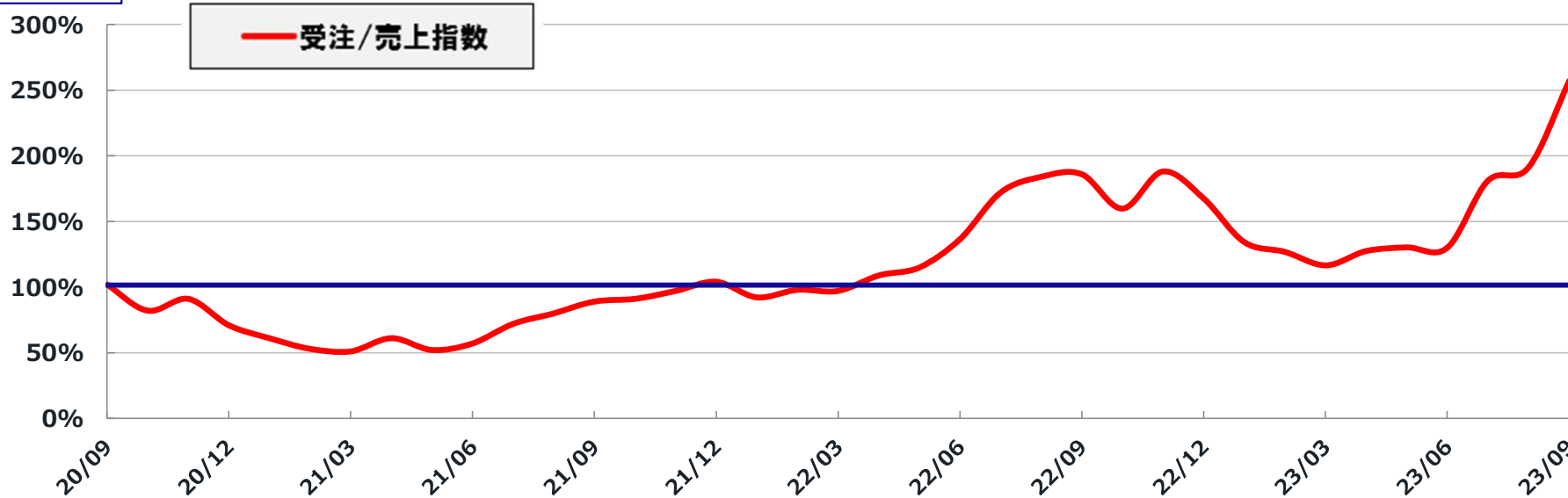
- <坑内掘り>
- コンティニューアスマイナ
- シアラー
- ロードホールダンプ
- ジャンボドリル他



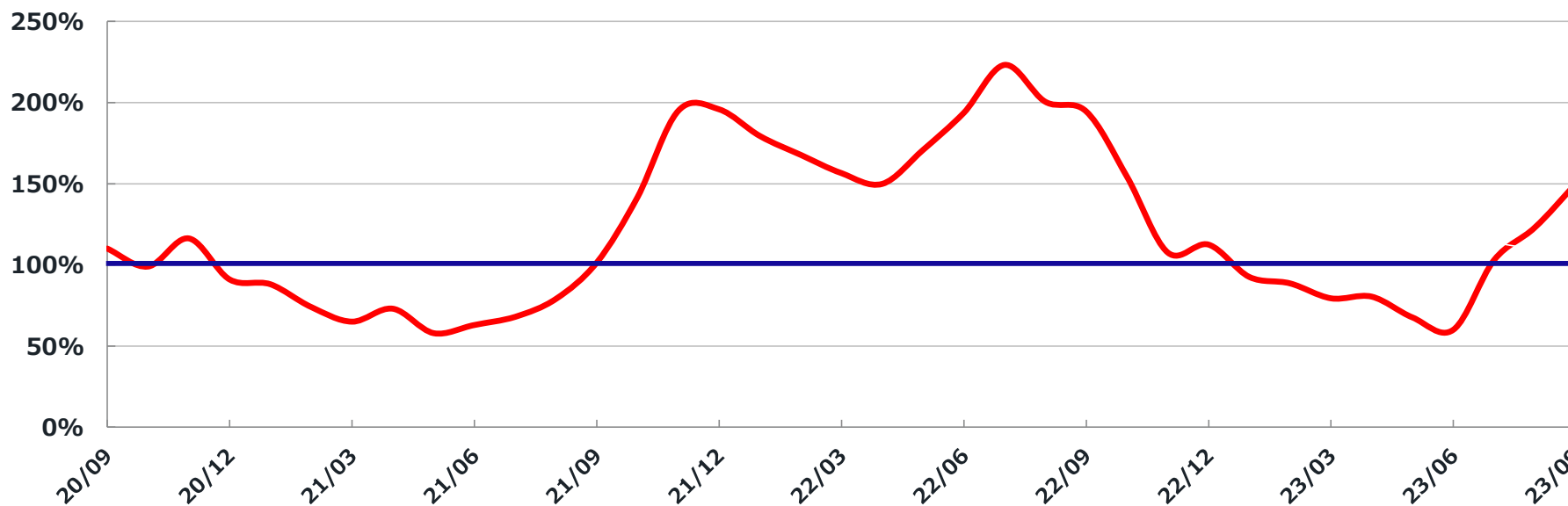
【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC



-未来の水中工事はこうなる- 2025年日本国際博覧会に、コマツと青木あすなる建設が共同で協賛

コマツと青木あすなる建設株式会社は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）において、超遠隔操作・無人化施工・水中電動などの最先端技術による「未来の水中工事」を世界に発信します。

(2023年8月2日 ニュースリリース)



-カーボンニュートラル実現を加速-

コマツと日立が技術供与し、デンヨーが開発・製品化した水素混焼発電機をコマツ小山工場に導入

コマツと株式会社日立製作所が技術供与し、デンヨー株式会社が開発に取り組んでいた250kW水素混焼発電機の製品化に成功しました。

コマツはカーボンニュートラル実現に向けた取り組みとして本発電機の初号機を小山工場に導入しました。

(2023年8月8日 ニュースリリース)



統合報告書「コマツレポート2023」を発行

コマツは、統合報告書「コマツレポート2023」を発行しました。

(2023年9月22日 ニュースリリース)

社長メッセージ

技術の進展に合わせ、
コマツのコンポーネント戦略は
次のステージに進みます



中期経営計画特集

お客様の現場を最適化する新たな「コト」価値の創造

「DXスマートコンストラクション」の推進

現場の安全性と生産性の更なる向上を目指して

建設・鉱山機械の自動化開発

脱炭素社会に向けた新たな価値の創造

カーボンニュートラルへの挑戦

デジタル技術を活用した、機械の生涯にわたる価値の提供

進化するバリューチェーン戦略



サステナビリティ



対地雷除去機



-電動化建機の市場形成を目指して-
コマツとHondaが共同開発した電動マイクロショベル「PC05E-1」を新発売

コマツは、本田技研工業株式会社と共同開発した電動マイクロショベル「PC05E-1」を本年10月より国内市場で発売しました。

(2023年9月26日 ニュースリリース)



着脱式可搬バッテリー搭載
新型電動マイクロショベル
「PC05E-1」

株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2022>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。